

『改訂版 聞く・考える・話す 留学生のための初級にほんご会話』
教師用ガイド

目次

授業の進め方	2
各課の留意点	5
1 自己紹介をする	5
2 聞き返す	9
3 場所を聞く	12
4 注文する	16
5 チケット売り場で買う	19
6 誘う・断る	22
7 あいさつする・尋ねる	26
8 会話を続ける	29
9 忘れ物を問い合わせる	33
10 事情を説明する・頼む	36
11 謙遜する・褒める	39
12 謝る	42
13 苦情を言う	45
14 独り言を言う・申し出る・苦情を言う	48
15 親しい友だちと話す	51
16 許可を求める	55
17 お見舞いに行く	57
18 申し込みをする	60
19 頼む・頼まれる	63
20 アドバイスを求める	67
授業実践例	70
文法項目リスト	76
NOTES 項目リスト	85

授業の進め方

ここでは基本的な授業の進め方を示します。「考えよう」「聞いて答えよう」「聞いて考えよう」は各課の最初だけではなく、途中でやる場合もあります。練習 A は各課に複数あり、練習 B は複数ある課もあります。各課の留意点や使用可能な表現、学習者の誤用例など詳細は、本ファイルの各課の留意点をご覧ください。

以下の進め方の中に使用されている「〇〇／△△」の「／」は、「〇〇」でも「△△」でもどちらのやり方でもよい、ということを示します。

準備

- ・ロールプレイカード・イラストカード（使用する課のみ）
- ・その他使用可能な小物 ▶本ファイル各課の留意点（p.5～p.69）
- ・音声、音声スクリプト（ウェブサイトよりダウンロード）



絵

- 1.絵を見せて場面や状況を把握させる
- 2.学習者に種々の質問をして、その状況をイメージしやすくする



★課によって異なるが、下の3つの
いずれかから始まる

考えよう	聞いて答えよう（音声使用）	聞いて考えよう（音声使用）
<ol style="list-style-type: none"> 1.絵の登場人物がどのような意図の発話を行おうとしているのか具体的に説明する 2.学習者にどのように発話するか聞く 3.多くの表現を引き出す 4.学習者が言った応答を全て板書する *初歩の段階で応答例が少ない場合は板書しなくてもよい 5.学習者に応答の是非をチェックさせ、理由も言わせる 6.教師が説明して、学習者から引き出した応答の是非を言う 	<ol style="list-style-type: none"> 1.具体的な状況を説明する 2.最初の応答のない音声のみ聞かせ、学習者に何と応答するか聞く 3.多くの応答を引き出す 4.学習者が言った応答を全て板書する *初歩の段階で応答例が少ない場合は板書しなくてもよい 5.学習者に応答の是非をチェックさせ、理由も言わせる 6.応答のある音声を聞かせ、理解させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで考えさせる内容は様々である <ol style="list-style-type: none"> 1.具体的な状況を説明する 2.音声を聞かせ、学習者に考えさせる 3.多くの考えを引き出す 4.学習者が言った考えを全て板書する *内容によっては板書しなくてもよい 5.次の音声を聞かせ、文脈から意味を理解させる。 6.板書した場合は、是非をチェックさせる



練習 A：置き換え練習（音声なし）

○直前に「考えよう」「聞いて答えよう」「聞いて考えよう」のいずれかがあって、NOTES に挙げられた重要表現が練習 A にある場合

1. NOTES にある重要表現について説明する。

*学習者と一っしょに NOTES を見る／教師が説明する

▶本冊 NOTES

2.学習項目にある表現を教えたり、学習者に言わせたりして確認する ▶本ファイル各課の留意点（p.5～p.69）

3.学習者に読ませて、発音をチェックする／会話例をリピートさせて、発音をチェックする

4.ペアワークをさせる／教師から始めてチェーンドリルを行う

- *【oo】の箇所は、学習者自身のことを当てはめて練習をする
- *☺?の箇所は、学習者が自分で自由に考えた表現を使用して行う
- *テキストの後半になると、活用させて置き換える練習がある

5.練習 A 以外の語彙等（●**関連語彙**、囲み表現など）を使用して、あるいは学習者自身の状況で会話をさせる

▶本ファイル各課の留意点（p.5～p.69）、本冊●**関連語彙**

○直前に「考えよう」「聞いて答えよう」「聞いて考えよう」のいずれもない場合、あるいは、あっても NOTES に挙げられた重要表現が練習 A にない場合。

1. 学習者に読ませて、発音をチェックする／会話例をリピートさせて、発音をチェックする

2. NOTES の重要表現がある場合、それを説明する

*学習者といっしょに **NOTES** を見る／教師が説明する

▶本冊 **NOTES**

3.学習項目にある表現を教えたり、学習者に言わせたりして確認する ▶本ファイル各課の留意点（p.5～p.69）

4.ペアワークをさせる／教師から始めてチェーンドリルを行う

- *【oo】の箇所は、学習者自身のことを当てはめて練習をする
- *☺?の箇所は、学習者が自分で自由に考えた表現を使用して行う



誤用・不適切例☹（音声がある箇所もあり）

1.教師が読んで、どこが誤用・不適切で、なぜ誤用・不適切かを考えさせる（音声がある場合は、読む代わりに☹の箇所の音声を聞かせてもよい）

2.正用・適切な表現は何かを考えさせる

3.多くの考えや表現を引き出す（本冊正用・適切例以外にも適切な表現はある） ▶本冊☺（正用・適切例）

4.学習者から表現が多く出た場合は、板書し学習者に是非をチェックさせる

5.教師が説明し、正用、適切な表現を示す（音声がある場合は、読む代わりに☺の箇所の音声を聞かせてもよい）

▶本冊☺（正用・適切例）



練習 B（音声あり）

1.音声を聞かせる／教師が読む

2. NOTES の重要表現がある場合は、それを説明する

*学習者といっしょに **NOTES** を見る／教師が説明する

▶本冊 **NOTES**

3.会話例をリピートさせ／学習者に読ませ、発音をチェックする

4.会話例をペア練習させる

5.1) 2) の状況でペアで会話させ、発表させる * 1) のみの課、3) まである課もある

*学習者自身の状況で会話させてもよい

▶本ファイル各課の留意点（p.5～p.69）

6.フィードバックする



ロールプレイ（ロールプレイカード・イラストカード使用）

・ロールプレイは、1 と 2 の 2 種ある。1 つのロールプレイには A と B のカードがあつて（4 課のみ C のカードもある）、異なった状況が書かれている。

1. 2 人（場合によっては 3 人）の学習者（教師の指名／希望者）を教室の前に出させ、それぞれに A と B（、C）の

- ロールカードを渡す。学習者同士は、お互いにカードの内容は知らない状態。
- 2.学習者にロールプレイをさせる。ロールプレイが終わるまで、教師は手助けしないようにする。
 - *助けを求められたら、聞き返しや確認などのコミュニケーションスキルを使用して、自分達で完結するように指示する
 - *会話の始め方、終わり方など流れにも注意する
 - *学習者数が少ない場合は全員にさせ、多い場合は数組にさせる
 - 3.ロールプレイが終わったら、学習者に会話がどうだったか聞いて、自己評価、他者評価をさせるとよい
 - 4.教師がフィードバックして、全員にペアワークをさせる。



★余裕がある学習者や既習者は以下の練習を行う

応用練習（音声あり）

- ・練習 B と同様に練習を行う
- ・会話相手が店の人や銀行の人などで学習者にとって難しい表現を使用している場合は、質問部分は音声で流す、または教師が担当し、学習者に応答させる練習をするとよい



違う場面で（音声あり）

- ・ここには1) 2) などの違う状況での練習課題が示されていない
- ・会話例を練習させてから、自分自身の状況で自由に練習させる
- ・会話相手が店の人や銀行の人などで学習者にとって難しい表現を使用している場合は、質問部分は音声で流す、または教師が担当し、学習者に応答させる練習をするとよい

1

自己紹介をする

目標

初めて会った人に失礼のないように自己紹介できるようにする。また、複数の人の前でスピーチ形式で自己紹介できるようにする。

学習項目

○自己紹介を始める

▶ NOTES 1 練習 A-1

「はじめまして」

「こんにちは。はじめまして」

○文を省略して質問する

▶ NOTES 4 練習 A-3 練習 A-3 Cf

「お国／学部は↑」

○情報を得たときの了解を示すあいづち

▶ NOTES 5 練習 A-3

「あ、そうですか／そうですか」

○同じ質問を相手に返す

▶ NOTES 6 練習 A-4

「アレンさんは↑」

※相手の名前に「は」をつけ、上昇イントネーションで聞く。

○最後のあいさつ

▶ NOTES 3 練習 A-2

「(どうぞ) よろしく (お願いします)」

○丁寧な言葉で話す

▶ 練習 A-3

「お国」

※相手の「国」や「名前」などの単語の語頭につけて、丁寧さを示す接頭辞「お」。

「【名前】さん」

※相手の名前につける敬称「さん」。

▶ 練習 A-4

「【名前】と申します」

▶ NOTES 2 練習 A-1 Cf. 練習 B-3

※自分の名前を初めて名乗るときの言い方。

授業前の準備物

・ロールプレイカード 1-1 1-2

パーティーの小物（紙コップ、料理の絵など）を準備するとパーティーの雰囲気が出る。

教えるときの留意点

絵：アレンが地域の留学生歓迎パーティーに参加して、日本人の女性に話しかけられる場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。学習者に歓迎パーティーに参加したことがあるか、学習者の国でどんな歓迎パーティーがあるかなどを尋ねることにより、学習者自身がアレンの立場でパーティーに参加していることをイメージさせる。

聞いて考えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) [中田：はじめまして。
- 2) [中田：こんにちは。はじめまして。
※ ここでは中田は初対面の人である。

可能な表現

「はじめまして」

ここでは、不適切例や誤用は出にくい。意味がわからず返答できない場合はあるが、教師は教えずに返答している音声を聞かせる。

練習 A-1

【名前】、【国】と書いてあるところは、学習者自身の名前や国を入れて練習する。学習者の身分や学部、所属は、「●関連語彙」(NOTESの前)に例があるので、それを見させて自分の身分や学部に対応する語彙を使わせる。

※学習者は「わたしは～です」と言いがちなので、注意する。「わたしは」は言わないほうが自然。

Cf. 口が回らず「申します」が言えない学習者は「～です」でよい。

聞いて考えよう 2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

[中田：どうぞよろしくお願いします。]

可能な表現

「よろしくお願いします」「どうぞよろしくお願いします」「こちらこそ」

不適切例

「よろしく」「どうぞよろしく」

初対面の人が「どうぞよろしくお願いします」と丁寧にあいさつしているので、「(どうぞ)よろしく」と答えると失礼になる。

練習 A-2

未習者は「どうぞよろしくお願いします」という長い文が言えないことがあるので、「よろしく」という短い表現から、徐々に「よろしくお願いします」「どうぞよろしくお願いします」という表現が言えるように練習してもよい。

⊗ 先生に「よろしく」と言われても、「どうぞよろしく」と答えたら失礼になるので、「よろしくお願いします」「どうぞよろしくお願いします」と答える。

練習 B-1

この会話での「わたしは」は、アレンの「カナダの留学生」との対比を表しているなので、省略しないようにする。

聞いて答えよう 3

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) [中田：お国は↑
「国」に「お」がついているので、理解できないことがある。

可能な表現

「【学習者の国名】です」 例) 「カナダです」

誤用例

「カナダ人です」

不適切例

「カナダ」

初対面の人に普通体で返答をすると丁寧さに欠ける。

2) [中田：学部は↑

「学部」という語彙がわからないことがある。

可能な表現

「【学習者の所属学部／研究科など】です」 例) 「工学部です」「地球環境科学研究科です」

※学習者が大学院生の場合、正式な所属は「工学部」ではなく「工学研究科」のように「部」が「研究科」になる。ただし、日常会話では便宜的に「工学部」のように「部」と言う場合もある。

練習 A-3

※「そうですか」と言うとき、上昇イントネーションになる学習者がいるので注意する。上昇イントネーションになると、相手が言ったことに懐疑的であることを示すことになる。

▶ NOTES 5  2

Cf. 自分の専門分野が日本語では言えない場合は、「英語で～です」と英単語を使ってもいいし、「日本語ではわかりません」と言ってもよい。

聞いて答えよう 4

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

アレン：キムさんのお国は ↑
キム：韓国です。
アレン：あ、そうですか。
キム：アレンさんは↑

可能な表現

「カナダです」

誤用例

「はい」「はい、アレンです」「はい、そうです」

不適切例

「カナダ」

初対面の人に普通体で返答をすると丁寧さに欠ける。

練習 A-4

【国】、【学部】と書いてあるところは、学習者自身の国や学部を入れて練習する。

※「あなたは」を使う学習者がいるので注意する。初対面の人に「あなたは」と聞くと失礼になることがある。特に目上の人には使用しないほうがよい。

練習 B-2

助詞「も」がわかりにくいようなら、「も」を使う短い会話練習をするとよい。

学習者を全員立たせ、自由にペアを作って自己紹介させてもよい。その際、紙コップなどパーティーに使用する小物を用意しておくと、パーティーの雰囲気が出る。

※了解を示すあいづちを打ってから、次の質問をするように注意する。

ロールプレイ

※1人が一方的に質問をしてもう1人が答える、といったインタビューのような会話になることがあるので、相互に質問したり答えたりできるようにする。

※あいづちを打たないことがあるので、注意する。

・ロールプレイカードの **1-2** は、3人で会話するようになっているので、教師やほかの学習者が加わり、指導教員の役割をする。

練習 B-3

ここでは複数の人の前でスピーチ形式で自己紹介をする練習をする。

学習者が自己紹介する可能性のある状況（例えば、日本語クラス・研究室・寮など）を設定して、練習する。

※場面や聞き手に応じて適切な情報を選べるようにする。例えば、日本語クラスで「（わたしは）日本語の学生です」というような不必要な情報は入れないようにする。

※すべての文で「わたしは」と言いがちなので、必要な部分にだけ使用するよう注意する。

※ポケットに手を入れたり、腕を組んだりする学習者がいるが、日本では失礼になるので気をつける。

応用練習

動詞が使用してあり、既習者向けの練習。

人を紹介するときは、最初に目上の人に友だちを紹介する。知人から紹介されたら、名乗ってあいさつする。

違う場面で

動詞、形容詞が使用してあり、既習者向けの練習。教室で初めて会ったクラスメートとの会話。

趣味についての語彙を教師側が用意しておくといよい。例として読書、旅行、料理、ゲーム、スポーツなど

2

聞き返す

目標

面識のある人にわからないことを尋ねて、確実に情報を得られるようにする。情報を聞いて聞き取れなかったとき、聞き返しできるようにする。

学習項目

- 話しかける
「中田さん」 ▶ 練習 A-1
- ある物を見て、それが何かわからないときに尋ねる
「これは何ですか↑」 ▶ 練習 A-1
- 相手へ軽く謝罪する
「すみません／すいません」 ▶ NOTES 1 練習 A-1
- 聞き返す
「もう一度お願いします」
「もう一度言ってください」
「ゆっくりお願いします」 ▶ 練習 A-1 Cf
「英語でお願いします」
「リーバー?」「おやこ?」※言いさし ▶ NOTES 3 練習 A-2
- 相手の発話を肯定することを示す
「はい、そうです／ええ、そうです」 ▶ NOTES 4 練習 A-2
- 単語の意味、内容を尋ねる
「おやこどんぶりは何ですか↑」 ▶ 練習 A-3

授業前の準備物

- ・ロールプレイクード 2-1 2-2 / イラストカード 1. メニュー 2. 写真
イラストカードを使用して行う。その他、メニュー、絵、絵葉書、写真、雑誌など内容について質問できる生教材を使用してもよい。

教えるときの留意点

絵：アレンと中田が大学の食堂で料理の陳列ケースを見ている場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。大学や学校の食堂で食事をしたことがあるか、何を食べたかなどを尋ね、食堂にいることをイメージさせる。

考えよう 1

食堂で食べたい物の名前がわからないときに、友だちに何と言って聞くか考えさせる。

可能な表現

「これ／それ／あれは何ですか↑」「これ／それ／あれ（は）何↑」
この場面の絵の状況では指示詞「これ」が正しい。しかし、学習者が2人の人物と食べ物の位置関係まで絵と同様にとらえているかわからないため、学習者が描いた位置関係では「それ／あれ」が使用できる場合もある。2人の人物と食べ物の位置関係に応じて使用される指示詞が異なることを意識させる。

聞いて答えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

1) 中田の発話が聞き取れたか尋ねる。

〔中田：おやこどんぶりです。

未習者の場合ほぼ聞き取れないが、教師は答えを教えずに2)に続けて、わからないとき、何と言って聞き返すか考えさせる。

2) 何と言って聞き返すか考えさせる。

可能な表現

「もう一度お願いします」「もう一度言ってください」「おやこ」(言いさし)「ゆっくりお願いします」「えっ↑」「はい↑」(▶3課「場所を聞く」)

誤用例

「もう一度ください」

既習者の場合、「お願いします」と「ください」を混同して「もう一度ください」と言うことがある。

不適切例

「もう一度↑」

練習 A-1

ここでは、「これは何ですか」という質問に答えられなくてもよい。練習 A-1、A-2 で聞き返しの練習をしたあとで、より実践的な練習をするとよい。詳しくは練習 A-2 参照。

⑩ 聞き返しをするときは、「もう一度お願いします」か、「もう一度言ってください」を使う。

聞いて答えよう 2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔事務の人：すみません、お名前は↑
アレン：アレン・リーバークウィルです。
事務の人：アレン、リーバーク

可能な表現

「アレン・リーバークウィルです」「リーバークウィルです」

練習 A-2

1と2の練習をしたあとで、メニューや写真、絵葉書などの生教材を準備して、聞き返しの練習をする。学習者に「これは何ですか」と質問させて、教師が答え、実際に聞き取れないときに言いさしや「もう一度お願いします」などで聞き返しをさせる。

考えよう 2

おやこどんぶりがどんな物かわからないとき、友だちにどう聞くか考えさせる。

可能な表現

「おやこどんぶりは何ですか↑」「おやこどんぶり↑」「それは何ですか↑」

練習 A-3

ここでは「おやこどんぶりは、鶏肉と卵とご飯です」と最も簡単な文で説明してあるが、学習者が既習でできるなら、「ごはんの上に鶏肉と卵があります」「ごはんの上に鶏肉と卵がのっています」などほかの表現を使わせてもよい。

⑧ 2 新しい情報を得たときは「そうですか」と応答する。「そうですか」「そうです」の違いを確認する。

▶ 1課 **NOTES 5** 2課 **NOTES 4**

練習 B

1) は、おにぎりで、2) は、テーブルの上にあるしょう油差しの絵。これらに限らず写真、メニュー、絵葉書などを使用して練習してもよい。

※学習者によっては、「これは何ですか」と聞かれても答えられないことがある。わからないときは、「わかりません」、「わたしもわかりません」と言えるようにする。また、既習者であれば、「ほかの人/店の人に聞いてください」を教えてもよい。

ロールプレイ

ロールプレイカード **2-1** はイラストカード **1. メニュー**、**2-2** はイラストカード **2. 写真** を使用して行う。

※学習者同士で行うとき、聞かれた学習者がその答えがわからずに困ることがある。わからなくても途中で教師が介入しないようにする。わからないときは、「わかりません」、「わたしもわかりません」あるいは、「ほかの人/店の人に聞いてください」などが言えるようにする。

※「おいしいですか」「豚肉がありますか」「牛肉が入っていますか」など質問して発展させてもよい。宗教上やアレルギーの制限などで食べられない物がある場合、特に便利である。

応用練習

おやこどんぶりの名前の説明が含まれているため、既習者向けの練習。

違う場面で

既習者向けの練習。たが、未習者であっても余裕があれば、「おいしいです」「おいしそうです」を表現として教えてもよい。友だちが食べている物が何かを尋ねる会話。

食べる前に、その料理の見た目から味を予測する表現である「おいしそう」を使った会話例である。話を始めるきっかけとしても使える。

3

場所を聞く

目標

知らない人にトイレや郵便局、銀行などの場所を聞き、確実に情報を取れるようにする。また、自分が知らない人に尋ねられたときに適切に応答できるようにする。

学習項目

- 話しかける ▶ NOTES 1 練習 A-1
「すみません／あのう／あのう、すみません」
- 話しかけられたときに応答する ▶ NOTES 2 練習 A-1
「はい」
「何ですか」
「何でしょうか」
- 存在場所を聞く ▶ 練習 A-2 練習 A-3 練習 A-4
「図書館はどこですか↑」
「コンビニはどこにありますか↑」
「山本先生はどこにいますか↑」
「森先生はどこですか↑」
- 聞かれたことがわからないことを示す ▶ NOTES 3 練習 A-2
「さあ……」
「さあ、わかりません」
「すみません、わかりません」
- わからないと言われたときに応答する ▶ 練習 A-2
「そうですか」
※わからないと言われたときに、それを了解したことを示す表現。
- 確認する
「コンビニですか↑」 ▶ 練習 A-4
「事務室ですね」 ▶ NOTES 5 練習 A-3
- 確認されたときの応答 ▶ 練習 A-3
「はい」
「はい、そうです」
- 新情報を提供する ▶ NOTES 6 練習 A-4
「事務室ですよ」
- 聞き返す ▶ NOTES 7 練習 A-5
「はい↑」
- お礼を言う ▶ NOTES 4 練習 A-2
「すみません」 ▶ 練習 B-2
「どうもありがとうございました」
- 同意要求、同意提示する ▶ NOTES 5 Cf
「おいしいですね」
「おいしいですねえ」
※会話には含まれていないが（違う場面でを除く）、日常生活で聞くことが多いので、参考として提示する。
- 同意を要求されたときの応答 ▶ NOTES 5 Cf
「そうですね」

授業前の準備物

- ・ ロールプレイカード **3-1** **3-2** / イラストカード **3. 地図**
- ・ イラストカードの地図があるが、学習者になじみのある地名が入った実際の地図を使用してもよい。

教えるときの留意点

絵：アレンが駅で歩いているときに、見知らぬ女性に話しかけられている場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。学習者に馴染みのある駅を例に挙げて、そこに行ったことがあるか、よく行くか、あるいは話しかけられたことがあるか、などの話をして同じ状況にいることを意識させる。

聞いて答えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) [日本人：すみません。
- 2) [日本人：あとう。
- 3) [日本人：あとう、すみません。

「あとう」を指示詞の「あの」と思い、答えられない学習者がいる。人に話しかけるときに指示詞の「あの」が使用されることはないことに気づかせる。

可能な表現

「はい」「はい、何ですか↑」「何ですか↑」「はい、何か」「はい↑」
「はい、何でしょうか」「何でしょうか」

誤用例

(「すみません」に応答して)「すみません」
「どうぞ」

不適切例

「何↑」

練習 A-1

「何でしょうか」は、「何ですか↑」よりやわらかい表現で、丁寧になる。

聞いて答えよう 2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) [アレン：あとう、すみません、図書館はどこですか↑
日本人：さあ……。
- 2) [アレン：あとう、すみません、図書館はどこですか↑
日本人：さあ、わかりません。

「さあ」の意味がわからないことがある。また、「さあ」を「うーん」や「ええと」と同様の、考えているサインだと思う学習者がいる。「さあ、わかりません」という応答を聞いて意味を推測できることが多い。

可能な表現

「そうですか」「ああ、そうですか」

練習 A-2

「さあ」は、使えるようにならなくてもよいが、聞いたときに意味がわかるようにする。「さあ、わかりません」と言われたときに、「そうですか。ありがとうございました」と言うこともできる。だが、「さあ」とだけ言われたときは、「ありがとうございました」は丁寧すぎて不釣合いになる。

⊗指導教員など当然知っているべき先生の名前を聞かれたとき、「さあ」を使うと無責任な印象を与える。

▶ **NOTES 3**

聞いて答えよう 3

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) [アレン：すみません。コンビニはどこにありますか↑
日本人：コンビニですか↑
- 2) [アレン：すみません。コンビニはどこにありますか↑
日本人：コンビニですね↗

確認されたとき、どのように応答するか考える練習。「コンビニですか↑」の場合は、質問されていることがわかるが、「コンビニですね↗」は初出のため、わからないことがある。

可能な表現

「はい／ええ」「はい／ええ、そうです」「はい／ええ、コンビニです」

誤用例

「そうですね」「コンビニですね」

練習 A-3

1は「～か↑」、2は「～ね↗」を使用した確認の練習。さらに、1は場所を聞かれた人が確認し、2は場所を聞いた人が情報を得たときに確認する。

※1. で場所を答える場合、「あそこです」だけではなく、「1階です」や「スーパーの隣です」などほかの答え方でもかまわない。囲みの中の位置詞を使用して答えさせてもよい。

NOTES5 Cf. 同意要求、同意提示の「ね」はこの課の場面では使用されていないが、日常生活でよく使用され、日本人に同意要求されることがあるので、ここで例を示した。

これは日常のクラスの中で教師が「寒いですね」「暑いですね」などのように声をかけて、自然に使用していくとよい。

※1課から学習を始めた場合、ここで「そうです／そうですね／そうですか」の3種の応答表現を学習したことになる。中級レベルくらいでも誤用が見られるので、これらの意味、運用法の違いがわかるようにする。さらに「そうですか↓」と「そうですか↑」はイントネーションの違いによる意味の違いも確認する。

練習 A-4

※「事務室ですよ」の「よ」が強すぎたり下降イントネーションになっていたりすると、怒っているような印象を与えるので、注意する。また、自分の意見を主張するときにも使われるため、特に目上の人に使いすぎると傲慢な印象を与える可能性があるため、注意する。

※「危ないですよ」、「あ、車が来ましたよ」などのように相手に注意を促すときには「よ」を使用するが、ここでは扱っていない。既習者から「よ」の使用に関して質問があった場合は、教えてもいいかもしれない。

聞いて答えよう 4

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1)

{	日本人：すみません、お名前は↑
	アレン：アレン・リーバークウィルです。
	日本人：はい↑

※聞き返しの「はい」をわかったという意味で理解する学習者がいる。

可能な表現

「アレン・リーバークウィルです」

練習 A-5

2 課で学習した聞き返しのための「言いさし」や「もう一度お願いします」に加えて、練習をする。

- ※「はい↑」の「は」や「い」の音が強く長くなり、喧嘩ごしの言い方になることがあるので注意する。
「はい」は短く軽く発音するようにする。

練習 B-2

「ありがとうございました」は学習項目に挙げてあるが、練習 A では、練習しない。情報を得たときにお礼が言えるように練習する。

- ※お礼の表現が過去形になることに疑問を持つ学習者がいる。質問があつたら、ここではすでに見知らぬ相手から情報を得ていて、この件に関して話が完了しているので、「ありがとうございました」を使うほうが自然であることを説明する。

ロールプレイ

イラストカード 3. 地図を使用して行う。地図には公園や本屋が複数あるが、どこの公園や本屋を説明するかは、ロールプレイを行う学習者に任せてもいいし、事前に教師が場所を指示してもよい。尋ねる公園や本屋の名前は、それぞれの地域に応じて適宜変更するとよい。また、地域の地図があれば、それを利用してもよい。

違う場面で

既習者向けの練習。通学にかかる時間や、交通手段を話す時に使う「歩いて」「電車で」や「何分くらい」を提示している。個々の学習者の状況に合わせて適宜表現を加える。

4

注文する

目標

カフェやレストランで注文したり、お金を払ったりできるようにする。店員の発話を理解し、適切に応答できるようにする。

学習項目

○注文をする

「N (を) N【数量】ください」

▶ NOTES 1 練習 A-1

「N (を) N【数量】お願いします」

▶ NOTES 2 練習 A-1

○複数の人が1人ずつ注文する

「わたしはNをください/お願いします」

▶ 練習 A-1

○会計を頼む

「お願いします」

▶ 練習 A-3

「会計、お願いします」

▶ NOTES 4

○1人ずつお金を払う

「別々にお願いします」

▶ 練習 A-3

○店員の表現（理解表現）

「いらっしゃいませ」

▶ 練習 A-1

「何になさいますか ↑ 」

▶ NOTES 3 練習 A-2

「少々お待ちください」

▶ 練習 B

「900 円になります」

▶ 練習 A-3

※カフェやレストランで用いられる店員の表現は、学習者が話せなくても、聞いて理解できるようにする。

授業前の準備物

- ・ ロールプレイカード 4-1 4-2
- ・ イラストカード 1. メニュー 4A. ショートケーキのケース 4B. ケーキリスト
- ・ カフェ、レストランのメニュー

教えるときの留意点

絵：アレンが友だちの中田とカフェに行ったときの場面アレンの立場で状況を考えるようにする。学習者に日本でカフェに入ったことがあるか、何を注文したかなどを聞いてみるとよい。

考えよう 1

※助数詞を知っている学習者は「2はい」ということがある。また助数詞の後ろに「を」をつける学習者が多いので気をつける。

可能な表現

「コーヒー (を) 2つください」「コーヒー (を) 2つお願いします」「コーヒー、2つ」

誤用例

「コーヒーを2はいください」「コーヒー2つをください」

不適切例

「2つ、コーヒー」

コミュニケーションとしては成立するが、このまま覚えてしまうことも考えられるので訂正したほうがよい。

練習 A-1

1. カフェやレストランでの注文の仕方を練習する。「いらっしゃいませ」などの店員の表現は学習者が話せなくても聞いて理解できればよいが、「いらっしゃいませ」は短いので学習者同士で練習してもあまり負担にはならない。

※日本語の母音があいまいな学習者の場合は「1つ」と「2つ」の違いが分からなくなるので、はっきり発音させることが望ましい。

2. 「～ください」の代わりに「～お願いします」を使って練習する。

3. 客が2人以上の場合は「わたしは～をください」と、「わたしは」をつけて言う練習をする。1人の場合は「わたしは」をつけないことに注意する。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔店員：いらっしゃいませ。何になさいますか↑

「何になさいますか↑」の「なさいますか」は「しますか」の尊敬語である。意味が理解できず答えが出てこない可能性があるが、「何」という言葉に注目して答えを導くことができるかもしれない。

▶ **NOTES 3**

可能な表現

「ジュース（を）ください」「ジュース（を）お願いします」

練習 A-2

「何になさいますか↑」と聞かれたときの応答練習。イラストカード **1. メニュー** や他のメニューを使用して練習してもよい。

練習 B

練習Bの会話例は店員の発話も学習者に読ませて練習する。1) 2) の練習では、教師が店員となって練習するが、レベルによっては学習者がしてもよい。

考えよう2

お金を払うとき何と言うか考えさせる。すぐに答えが出てこないときは、自分の国では何と言うか、考えさせる。店員のほうが先に何か言った場合、何も言わないこともある。

レジに誰もいない場合、何と言うかも考えさせてもよい。

可能な表現

「すみません」「（お会計）お願いします」「いくらですか↑」

不適切例

「お金を払います」

レジはお金を払う場所なので、そこで「お金を払います」と言うのは不自然な印象を与えてしまうため、不適切である。

練習 A-3

レジでお金を払うときのやりとりである。店員の役は表現に数字が入っていて未習者がするのは、難しい場合がある。そのときは、教師が行う。「～になります」「お1人様」「全部で」など聞いてわかるようにする。

ロールプレイ

4-1のロールプレイは3人で行う。店員役は、理解表現を使用しなければならないので教師がする。希望する学習者がいたら、学習者にさせてもよい。既習者の場合は学習者同士で行う。メニューは実物を使用してもよい。

4-2も同様だが、店員側には残りのケーキ数が書いてあるので、その状況をよく理解させる必要がある。

応用練習

既習者向けの練習。「ミルクとお砂糖はどうなさいますか」は意向を聞く表現だが、申し出の意味を含むので、その申し出を受けるとき「お願いします」と答える。断るときは「いいです」、「けっこうです」と言う。

違う場面で

既習者向けの練習。レストランでランチセットを注文する練習。店員がよく使用する表現が含まれているので、店員の発話を理解したり、そのときどのように応答するか学習するのに役立つ。

5

チケット売り場で買う

目標

映画館や美術館、博物館などの窓口で自分が購入したいチケットを買うことができるようにする。また、チケット売り場の人に何かを言われたときに適切に応答できるようにする。

学習項目

○自分が購入したいチケットを伝える

「学生1枚、お願いします」

「N(を) N【数量】お願いします」

▶ NOTES 1 練習 A-1

○求められた物を提示する

「はい。これです」

「はい。あります」

▶ NOTES 2 練習 A-2

○求められた物の有無を述べる

「持っています」

「持っていません」

▶ 練習 A-2

○支払い方法を示す

「1万円をお願いします」

「カードをお願いします」

「現金をお願いします」

「スマホをお願いします」

▶ NOTES 3 練習 A-3

授業前の準備物

- ・ ロールプレイカード [5-1](#) [5-2](#) / イラストカード [5A.料金表](#) [5B.料金表](#)
- ・ 実際のチケットやお札代わりの紙やおもちゃのお金などを準備すると、より実際の場面に近づき効果的である。[5-2](#)を行う際には、さらに荷物代わりの箱、郵便料金表（ホームページ上にあるもの）などを準備するとイメージしやすい。

教えるときの留意点

絵：アレンが美術館の窓口で、カウンターの職員に話しかける場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。日本で美術館や博物館、水族館などに行ったことがあるか、チケットを買うとき何と言ったかなどを学習者に尋ねてみるとよい。

考えよう 1

(1) 美術館の窓口でチケットを買うとき、まず何と言うか考えさせる。

可能な表現

「すみません、学生1枚、お願いします／ください」「学生のチケットを1枚、お願いします／ください」
「学生(のチケット)を1枚」「大人1枚」「大人です」「大人ひとりです」

誤用例

「わたしは大人／学生です」「学生のチケット1枚をお願いします／ください」

不適切例

「1枚の学生のチケットをお願いします／ください」

(2) 学生料金や学生割引がある場合は、どうするか考えさせる。

聞いて答えよう

1) [窓口の人：学生証をお持ちですか↑

窓口の人が学生証の有無を尋ねるので、それを聞き取り何と答えるか考えさせる。「お持ちですか」という敬語が使われるため未習者にはやや難しいが、実生活では頻繁に聞く可能性があるので、ここでは状況から推測させる。

可能な表現

「はい。これです」「はい。あります」「はい。持っています」

誤用例

「はい。どうぞ」

相手から指示を受けて提示する場合、「どうぞ」は誤用である。

▶ NOTES 2

考えよう 2

支払い場面での相手にお金を渡すときの表現。ここでは少額の支払いを1万円札である場合の言い方を考えさせる。無言で渡すより、一言加えるだけで円滑なコミュニケーションがはかれる。

可能な表現

「1万円／これをお願いします」「1万円がいいですか↑」「1万円ですが／けど」
「大きいのみがありません／ないんですが」「細かいがありません／ないんですが」

誤用例

「1万円お願いします」「1万円あります」「1万円払います」

不適切例

「1万円で」

居酒屋など気楽な店ではいいが、店によっては、丁寧さが欠けることがある。

練習 A-3

- 1) では「これをお願いします」になるが、その場合の「これ」は、1万円札に限らずほかの紙幣やクレジットカード、商品券、ポイントカードなどで払う際に使えるので便利である。
2. 1) 電子マネーやスマートフォンのアプリなど、支払い方法が多様化しているので、適宜教師が補足する。

ロールプレイ

5-1の、チケット売り場の窓口の人の役割は、教師が行う。学習者にとっては、窓口の人が使用している表現は理解表現なので、無理に口頭でできるようにならなくてもよい。窓口の人役ができる学習者には任せられるのもいいだろう。チケットやおもちゃのお金、実際の遊園地の料金表などを使用して行くと、より実際の場面に近づき効果的である。

5-2は、郵便局で国に荷物を送るロールプレイである。練習Bまでには出てきていないので、しなくてもよい。学習者に郵便局で荷物を送りたいと思うか、また送ったことがあるかを尋ねて、要望があれば**違う場面**での会話を聞かせ、必要な表現を練習してから行くとよい。

応用練習

既習者向けの練習。映画館でチケットを購入する会話。「4時からの『月のうさぎ』」のように時間、映画のタイトルを言って、チケットを限定する表現が含まれている。実際に学習者が映画を見に行くことが多い場合は、未習者であっても、この表現だけ教えると、実際に使用できるようになる。それぞれの地域でレディスデーなど割引料金になる日を調べて、学習者に伝え、学習者が興味を持つ。

違う場面で

既習者向けの練習。学習者の利用が多い郵便局でのやりとりを取り上げている。ここでは「国際便」「航空便」など送り方の種類や、所要日数、料金などの表現を紹介する。また、日本で発達している宅配便のシステムについて紹介してもよい。

6

誘う・断る

目標

前置きとして自分の行動を示し、知人を誘うことができるようにする。そして、積極的に誘いを受けたり、失礼のないように断ったりできるようにする。

学習項目

○前置きとして自分の行動を話す

「(わたしは) 今週の土曜日にお花見に行きますが、アレンさんも行きませんか↑」

▶ NOTES2 練習 A-1

○誘う

「アレンさんも(お花見に)行きませんか↑」

▶ NOTES1 練習 A-1

「アレンさんもどうですか↑」

▶ NOTES4 練習 A-1

※話し手が前置きで自分の行動を示したときは、「どうですか」が使える。

○誘いの内容に対して積極的な賛同を示す

▶ NOTES3 練習 A-1

「あ、いいですね」

○誘いを受ける

▶ 練習 A-1

「行きます」

「ええ、します」

「行きます、行きます」

○誘いを断る

▶ NOTES5 練習 A-3

「あしたはちょっと……」

○誘いに応じられなかったことを謝罪する

▶ NOTES6 練習 A-3

「すみません」

○断られたとき了解を示す

▶ 練習 A-3

「そうですか」

○提案する

「図書館の前で会いませんか↑」

▶ 練習 A-2

「食堂の前で会いましょう」

▶ 練習 A-2

「あさっては、どうですか↑」

▶ 練習 B-2

○提案を承諾する

▶ 練習 A-2

「いいですよ」

○断った／断られたときに、次の機会を示唆する

▶ NOTES7 練習 A-3

「また今度」

○会話を終える

▶ 練習 B-1

「じゃあ、またあした」

「じゃあ、また」

授業前の準備物

・ロールプレイカード 6-1 6-2 / イラストカード 6. チケット

教えるときの留意点

絵：食堂でアレンが中田とお花見に行きたいと思って、誘う場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。「お花見」という習慣を知っているか、行ったことがあるかなどを学習者に尋ねてみる。また休みの日にどこか出かけることがあるか、友だちといっしょに何をしたいかなどを話し、友だちを誘いたい状況を設定する。

考えよう

友だちとお花見に行きたいとき、何と言うか考えさせる。

可能な表現

「お花見に行きませんか／お花見をしませんか」

「いっしょにお花見に行きませんか／お花見をしませんか」

「いっしょにお花見に行きましょう／お花見をしましょう」

※相手が親しい友だちで、友だちが行くだろうと思って誘う場合、あるいはより積極的に誘いたい場合、

「お花見に行きましょう」が使える。

「お花見に行かない↑」

誤用例

「お花見に行きますか／お花見をしますか」

※「お花見が好きですか」「あした、暇ですか」など様々な表現が出てくることがあるので、どういう状況を想定しているのか聞くとよい。学習者が想定した状況では使用可能な場合もあるため、教師の想定した状況の範囲だけで使用可能かどうか判断しないようにする。

不適切例

「お花見に行きたいですか」

※「～たい（ですか）」は、相手の欲求を直接的に尋ねる形であり、誘うときの表現としては不適切である。特に親しい間柄で、行きたいか否かだけを問う場合に限れば使用可能であるが、目上の人に対しては丁寧体で言ったとしても失礼になるので、注意が必要である。

聞いて答えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

1) [中田：アレンさん、今週の土曜日にお花見に行きますが、アレンさんも行きませんか↑

2) [中田：アレンさん、今週の土曜日にお花見に行きますが、アレンさんもどうですか↑

可能な表現

1) 「あ、いいですね。行きます」「ええ、行きます」「あ、いいですね。行きましょう」

2) 「あ、いいですね。行きます」「ええ、行きます」

誤用例

「あ、いいですね。します」「ええ、します」

※英語の表現を日本語に翻訳して、“do”の意味で「します」を使う学習者がいる。

不適切例

「はい、だいじょうぶです」

「はい、いいです」

※学習者は、「O.K.」の意味で「だいじょうぶ」を使うことがあるので注意する。

※「だいじょうぶ」は行くことに問題はない、という意味なので、目上の人に使うと失礼になることがある。また、初めて誘われた場合も失礼になることがある。ただし、いつもいっしょに遊ぶ友だちに対しては、使用可能である。

練習 A-1

☺の例

- 1) 行きませんか
- 2) しませんか/いっしょにしませんか
- 3) 来ませんか

※話し手の家でパーティーをするときでも、「来ませんか」ではなく「しませんか」「行きませんか」と言いがちなので注意する。事前に教えるのではなく、誤用から学ばせるとよい。

※「パーティーをする」（話し手が主催する）と「パーティーがある」を混同する人が多いので、違いを理解させる。

※3) ③の「行きます、行きます」は元気に速く話すと積極的に誘いに応じたことを示すが、力なくゆっくり言うと、仕方ないから行くと言っているように聞こえる。

⊗ 先生に自宅に招待されたとき、「いいですね」というと、先生の誘いを評価することになって、失礼になることがある。お礼を言ったほうが丁寧である。

練習 A-2

学習者は「図書館の前に会いませんか」「食堂の前に会いましょう」のように場所のあと、また位置詞のあとは「に」を使いがちなので、助詞にも意識させながら行う。

練習 B-1

1) と 2) 以外にも学習者自身が誘いたいと思うことを使って練習してもよい。その際、囲みの「別れのあいさつ表現」(p. 60)を使用するとよい。

聞いて答えよう 2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1)

アレン	： 中田さん、あしたカラオケに行きますが、中田さんもどうですか ↑
中田	： あしたはちょっと……。
- 2)

アレン	： 中田さん、あしたカラオケに行きますが、中田さんも行きませんか ↑
中田	： カラオケはちょっと……。

可能な表現

「そうですか」「そうですか、残念ですね」

- 1) 「じゃ、あさってはどうですか」
- 2) 「食事もしますよ」「じゃ、歌わなくてもいいですから」

誤用例

「いいです」「はい」

「ちょっと……」を断りの意味だと理解できず「ちょっとだけカラオケをします」と解釈することがある。

練習 A-3

☺の例

- 1) 日曜日は/映画は
- 2) 土曜日の夜は
- 3) 卓球は

※1) は、例えば、「日曜日はちょっと……」と「映画はちょっと……」の両方可能な場合もある。都合の悪いことの内容が異なっている点に気づかせる。

※誘いを断ったあと、理由を説明する場合と説明しない場合がある。理由を説明する表現は、ほかに「～んです」を使用した「試験があるんです」「都合が悪いんです」「用事があるんです」などがある。既習者なら提示してもよい。 ▶ **応用練習**

⊗ 誘いを断るとき、「いいえ、だめです」「いいえ、行きません」「カラオケは嫌いです」は、直接的で強く拒絶している印象を与える。

練習 B-2

練習 B-1 と同様に、1) と 2) 以外にも、あるいは1) と 2) を練習しないで、学習者自身が誘いたいと思うことを使って練習してもよい。待ち合わせ場所は、学習者の実際の生活圏で場所を指定すると実践的な練習になる。

※自由に練習させたとき、「じゃ／じゃあ、またあした」の「じゃ／じゃあ」を落して「またあした」とだけ言う学習者がいるので注意する。

ロールプレイ

6-1 では、イラストカード **6. チケット** を使用して行う。すでに内容が記載されているチケットを使用してもいいし、学習者に各自好みのコンサートやスポーツの試合のチケットを作らせて行ってもよい。

※目上の人、特に先生などに話すときは、「じゃあ、また今度の土曜日（に）」だけではなく、「今週の土曜日にお待ちしています」「今週の土曜日にお会いするのを楽しみにしています」のように言ったほうが丁寧になる。質問が出た場合には、学習者のレベルに応じて提示するとよい。

応用練習

既習者、あるいは少し余裕のある学習者向けの練習。3人の会話で、アレンは誘いを受け、リーは断る会話だが、「また今度」を使用する場合は、どんな状況か確認して練習させるとよい。機械的に練習すると、誘いを受けた人にも「また今度」ということがある。

違う場面で

既習者向けの練習。会話の始めから誘うのではなく、誘う前に「行ったことがありますか」という経験の有無を尋ねる流れになっている。また入園料など、学習者が気になる金額などの情報のやりとりも含まれる。

7

あいさつする・尋ねる

目標

知人に道で会ったときや学校で先生に会ったときなどに、適切にあいさつができるようにする。また乗車するバスや電車などの行き先を確認できるようにする。

学習項目

○行き先を尋ねる

▶ NOTES1 練習 A-1

「どちらへ／まで↑」

※「どちらへ／まで」は、行き先を詮索するのではなく「こんにちは」のあとに簡単なやりとりをしたいときに使う。

○行き先を答える

▶ 練習 A-1

「ちょっとコンビニへ」

「ちょっと区役所まで」

「ちょっと昼ごはんを食べに」

※行き先を答える場合と目的を答える場合がある。

○あいさつ表現

「いってきます」「いってらっしゃい」

▶ NOTES2 練習 A-3

「ただいま」「おかえりなさい」

▶ NOTES3 練習 A-3Cf.

「(お)久しぶりです」「久しぶり」

▶ NOTES4 練習 A-3Cf.

○乗り物の行き先を聞く

▶ 練習 A-4

「このバスは星見駅へ行きますか↑」

○理解したことを示す

▶ 練習 A-4

「わかりました」

○軽い感謝の気持ちを表す

▶ NOTES5 練習 A-4

「どうも」

授業前の準備物

・ロールプレイカード 7-1 7-2

・イラストカード 7A. スーパー店内 (客) 7B. スーパー店内 (店員)

実際の生活圏の商業施設やデパートのフロアガイドなど準備してもよい。

教えるときの留意点

絵：アレンが道で近所の人に会ったときの場面。

アレンの立場で状況を考えるようにする。近所の人に会ったとき、あいさつしたことがあるか、また知っている人に会ったら何と言ってあいさつするか、聞いてみる。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1)

{	アレン : こんにちは。
}	近所の人 : あ、アレンさん、こんにちは。どちらへ↑
- 2)

{	アレン : こんにちは。
}	近所の人 : あ、アレンさん、こんにちは。どちらまで↑

可能な表現

「ちょっと、コンビニへ／に／まで（行きます）」 「コンビニへ／に／まで（行きます）」
「コンビニです」「ちょっとそこまで」
「ちょっと買い物に」

誤用例

「ちょっとそこへ」「ちょっとそこに」

練習 A-1

行き先だけではなく「昼ご飯を食べに」のように目的を答えることもできることを説明する。

※行き先を答える練習だが、尋ねるときに「どこへ」は使用しないことを説明する。「どこへ行きますか」とは言えるが、この表現では相手の行動を詮索しているようになるので、この状況では使用しないほうがよい。

練習 A-2

大学のエレベーターの中で先生に会ったときの会話の練習。あいさつのあとに当たり障りのない軽い話題として、その日の気温や天候について話す。あいさつだけでは間が持たないとき、日本ではよく天候の話をすることを説明するとよい。

練習 A-3

あいさつ表現の練習。「行ってらっしゃい」「いってきます」はどちらを先に言ってもかまわないことを説明する。「ただいま」「おかえりなさい」も同様である。

考えよう

ふだんバスに乗るか、またバスに乗るとき、そのバスが自分の目的地に行くかわからないことがあるか、などを学習者に聞いてから行くとよい。また星見駅は架空の駅なので、学習者に馴染みのある駅名を使用すると考えやすいだろう。

可能な表現

「このバスは星見駅に行きますか↑」「星見駅に行きますか↑」「星見駅にとまりますか↑」

練習 A-4

交通機関の行き先を尋ねる練習。「どうも」を使って軽い感謝を表す。

「星見駅」や「地下鉄の南北線」を学習者に馴染みのある駅名や路線名に変更して練習してもよい。

※「●関連語彙」（NOTESの前）に電車に関する言葉があるので、それを参照して練習するとよい。

練習 B-2

学習者に合わせて、地名を適宜変更して練習する。

ロールプレイ

7-1には「出口」という新出語がある。道を尋ねる役の学習者は訳が書いてあるのでわかるが、7-1Bの道を答える役の学習者は、「出口」の意味がわからない場合がある。そのときは、周りにいる教師や学習者が教えずに、「出口は何ですか」と聞いたり、聞き取れないときには聞き返しを使ったりしてコミュニケーションをさせる。これは、実際に起こりうる状況である。あるいは、ロールプレイをする前に学習者全員に新出語の意味を説明しておく方法もある。

応用練習

既習者向けの練習。情報を得たときに確認することを意識させる。

違う場面で

ごみ出しに関する会話で、種々の語彙や文型が含まれているため、既習者向けの練習。ごみ出しは、学習者が難しいことだと思っていることの一つであるため、余裕がある学習者なら、挑戦してみるとよい。ごみ出しについて学習者間で話題も広がるだろう。

8

会話を続ける

目標

自分から知人に話題を提示して、会話を続け、切り上げられるようにする。相手に関する話題を提示したり、質問したりできるようにする。

学習項目

- 話題を提供する
「コーヒーをよく飲みますね」
▶ NOTES1 練習 A-1
- 数量を尋ねる
「どのぐらい」「何杯／何本／何時間（ぐらい）」
▶ NOTES2 練習 A-2
- 頻度を表す
「よく／ときどき飲みます」
「あまり飲みません」
「ぜんぜん行きません」
▶ NOTES3 練習 A-1 練習 A-3
- 質問の答えを考えていることを示す
「そうですねえ」
▶ NOTES4 練習 A-4
- 感想、印象を尋ねる
「日本語の勉強はどうですか↑」
▶ NOTES5 練習 A-4
- 感想、印象を述べる
「（日本語の勉強は）難しいですけど、おもしろいです」
▶ NOTES6 練習 A-4
- 話題を変える
「ところで」
▶ NOTES9 練習 B
- 会話を終了するための切り出し
「もう5時ですね」
「そろそろ帰ります」
▶ 練習 A-5
- 会話を切り上げる
「じゃ／では、お先に失礼します」
▶ NOTES7 練習 A-5
- 自分が先に帰るときの目上の人へのあいさつ
「お先に失礼します」
▶ 練習 A-5
- 労をねぎらうあいさつ
「お疲れさまでした」
▶ NOTES8 練習 A-5Cf.

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード 8-1 8-2
- ・8-2のロールプレイ用に何冊か本を準備してもよい。

教えるときの留意点

絵：研究室で高木がコーヒーを飲んでいるのをアレンが見ている場面。アレンの立場で状況を考えるようにする。学習者に勉強室や研究室など、絵のような休憩する場所があるかを尋ねて研究室にいるイメージをさせる。

考えよう

1) 毎日何杯もコーヒーを飲む先輩の高木に、コーヒーを話題にして話しかけるときの言い方を考えさせる。

可能な表現

「コーヒーをよく飲みますね」 「よくコーヒーを飲みますね」 「コーヒー、たくさん飲みますね」
「コーヒーが好きですか」 「コーヒーはおいしいですか」
「いつもコーヒーを飲んでますね」

誤用例

「コーヒーを飲みたいですか」 「コーヒーを飲みますか」

不適切例

「よくコーヒーを飲みます」
「～飲みます」と言うと、断定したことになり、相手に失礼な印象を与えることがある。
「コーヒーをください」

2) 高木が1日にどのぐらいコーヒーを飲むか聞きたいとき、何と言うか考えさせる。

可能な表現

「1日にどのぐらい／何杯ぐらいコーヒーを飲みますか」
「毎日どのぐらい／何杯ぐらいコーヒーを飲みますか」

誤用例

「1日何ぐらいコーヒーを飲みますか」

練習 A-1

いつもコーヒーを飲んでいる人に対して、そのことについて相手に同意を求めながら、それを話題提供として使うことができる。ただし、個人のことに踏み込む言い方なので、先生などには言わないほうがよい。文末の「ね」を「ねえ」と強く長く発音すると、あきれているような印象を与えるので、注意する。

☹ 終助詞「ね」を使用しないと、断定したことになるので、不自然であり失礼な印象を与えることがある。

練習 A-2

巻末の A5 に助数詞の表があるので、それを参照しながら練習する。特に「杯」「本」は数詞によって音が変わるので、それを意識させる。

☺ の例

- 1) 6杯、2～3杯
- 2) 10本、1箱
- 3) 2時間、30分

練習 A-3

頻度の表現と共起する動詞の形、肯定形か否定形かを認識する練習。

どの頻度の表現を使用するかは、話し手の主観的な感覚であるため、話し手が「あまり V ません」と言っても、聞き手がそれを頻度が高いと感じることもある。

聞いて考えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

以下の2つの表現を聞かせ、その違いを考えさせる。

- 1) [女：そうですね。（同意を示す）]
 2) [女：そうですねえ。（考えていることを示す）]

3課で学習した「そうですね」（同意を示す）と、新出表現である「そうですねえ」（考えていることを示す）の違いを考えさせる。イントネーションの違いだけではその意味の違いがわからないことが多い。しかし、ここでは特に説明を与えず、さらに以下の1) 2) を続けて聞かせて、文脈から推測させる。

- 1) [男：コーヒーをよく飲みますね。
 女：そうですね。]
 2) [男：1日にどのくらい飲みますか↑
 女：そうですねえ。5杯くらい飲みますよ]

可能な解答

- ・ 1) は同意を示し、2) は考えているときに言う。
 - ・ 1) と 2) はイントネーションが違う。
 - ・ 2) のほうが「ね」の音が長い。
- ※「そうですね」「そうですねえ」だけを聞いたときは、意味の違いがわからないが、短い会話を聞くと、文脈から推測できることが多い。

練習 A-4

イントネーションに気をつける。

※無言で考えるのを避けるようにする。無言でいると、考えているのか、日本語がわからないのかわからず、相手を不安にさせることがある。

※2. の会話では、「～はどうですか」の質問の答えで、必ずしも「～けど、～」という文型を使用しなければならぬわけではない。「とてもおもしろいです」だけでも「簡単でおもしろいです」でもかまわない。ただし、「そうですねえ」と考えているので、「おもしろいです」だけのような簡単な答えを出す場合には「そうですねえ」を使用する意味があまりない。

※「●関連語彙」（NOTESの前）に形容詞のリストがあるので、それを見させて意味の確認をしてから、練習させる。

- ⊗ これは音声を聞かせて考えさせる。不自然に長いポーズがある様子を聞かせるためである。「そうですねえ」「ええと」などと言って考えていることを示したほうが相手を不安にさせない。
- ⊗ 考える必要がない質問に対しては「そうですねえ」は使用しない。時計を見る時間が必要なときなどは「ええと」、「あのう」などのフィラーを使用する。時刻を表す表現は 巻末 A2 にある。

練習 A-5

会話を終了するための切り出しと、切り上げるときの表現。学習者はどうやって会話を終わらせたらいいか困ることが多いようなのでここで練習する。

※相手が話し続けているときは、「すみません、そろそろ……」だけでもよい。ただし、話をやめて欲しいと婉曲的に述べていることになるので、授業やゼミのような先生が管理している場での使用は注意が必要である。

ロールプレイ

8-2のロールプレイの際、Bの役の学習者に本を持たせてもよい。

既習者であれば、どんな動画／ドラマ／映画／アニメが好きか、どんな本が好きかなど話を発展させるとよい。

応用練習

既習者向けの練習。練習する際は、最後の「ところで～」と言ったあと、違う話題で会話を続けるように指示する。学習者に映画をよく見るか、どんな映画が好きか、宮崎駿の映画を見たことがあるか、など映画について質問してから、始めてもよい。

違う場面で

既習者向けの練習。練習する際は、**応用練習**と同様に最後の「ところで～」と言ったあと、違う話題で会話を続けるように指示する。

9

忘れ物を問い合わせる

目標

電車や駅、教室などでの忘れ物を問い合わせることができるようにする。その際、忘れた物について描写でき、駅員や事務員からの確認の質問に適切に応答できるようにする。

学習項目

- 忘れ物をしたことを報告する ▶ 練習 A-1
 「きのう、電車にかばんを忘れました」
 ※忘れ物を問い合わせる際の切り出しとする。
- 物について説明を求める ▶ 練習 A-1
 「どんなかばんですか↑」
- 物について描写する ▶ 練習 A-1
 「黒くて、大きいかばんです」
- 名詞の質問文（「N₁はN₂ですか」）に答える ▶ NOTES1, 2 練習 A-2
 「はい、そうです」
 「いいえ、違います」
- 名詞の質問文（「N₁はN₂さんのですか」）に答える ▶ NOTES1, 2 練習 A-2
 「はい、そうです」
 「はい、わたしのです」
 「いいえ、違います」
 「いいえ、わたしのじゃありません」
- 動詞・形容詞の質問文（「Vますか/Aですか」）に答える ▶ NOTES1 ①
 「はい、あります」 ▶ NOTES2 ①
 「いいえ、ありません」 ▶ NOTES1 ②
 「はい、新しいです」 ▶ NOTES2 ②
 「いいえ、新しくないです」
- 次の段階に話を進める ▶ NOTES3 練習 B
 「じゃ、この紙に名前と電話番号を書いてください」
 ※相手の発話を受けて判断し、次の段階に話を進める。
- 指示する ▶ NOTES4 練習 B
 「書いてください」

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード 9-1 9-2

教えるときの留意点

絵：電車の中にかばんを忘れたアレンが駅の忘れ物取扱所に行って、忘れ物について問い合わせている場面。学習者に忘れ物をした経験があるか、どんな経験かなどを聞いて同様の状況にいる意識を持たせる。

考えよう

電車にかばんを忘れたとき、駅の忘れ物取扱所で何と言うか考えさせる。

可能な表現

「電車にかばんを忘れました」「かばんを忘れたんですが」「忘れ物をしました」

不適切例

「電車にかばんがあります」

※「忘れる」の意味を「失念する」の意味だけでとらえている学習者もいる。「置いて来てしまった」、「持って来なかった」の意味であることを確認する。

練習 A-1

形容詞の名詞修飾の形がスムーズに言えるように練習する。

※「●関連語彙」(NOTESの前)に物の色を表す表現が書いてあるので、ここの練習が終わってから、確認するとよい。そして、そのあとで、学習者自身のかばんやかさ、ペンケースなどを描写させると、より実践的な練習になる。

※「N(色)とN(色)のN(物)」(黒と黄色のぼうし)のように言うべきところを、「黒いと黄色いぼうし」「黒くて黄色いぼうし」などと言いがちなので注意する。

聞いて答えよう

音声聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔 駅員：これですか↑

駅の忘れ物取扱所に忘れ物を取りに行き、事情を聞いた駅員が持ってきたかばんが 1) 自分の物だった場合、2) 自分の物ではなかった場合の答え方を考える。

1) 可能な表現

「はい」「はい、そうです」「はい、それです」「はい、これです」「はい、そのかばんです」

2) 可能な表現

「いいえ」「いいえ、違います」「いいえ、それじゃありません」「いいえ、わたしのじゃありません」「いいえ、もっと小さいのです」

誤用例

「いいえ、じゃありません」「いいえ、違います」

練習 A-2

各学習者の持ち物を使って、教師と学習者、学習者同士で応答練習してもよい。また、名詞の質問文に、動詞や形容詞の質問文を混ぜて学習者に質問し、答えさせる。学習者の誤用から名詞の質問文と動詞、形容詞の質問文に対する応答の違いに気づかせる。練習 A-2 の前にこの練習をすることも可能である。

①は動詞の質問文、②は形容詞の質問文なので、それらに対する応答は、質問文の動詞と形容詞を使用しなければならない。

練習 B

持ち物を描写する際、「Vている」「Vである」が既習であれば、「名前が書いてあります」「中に携帯電話が入っています」なども使用可能である。

ロールプレイ

どちらのロールプレイも問い合わせを受けるのは、事務員や駅員の設定である。これらの役の発話は理解表現を使うことになるので、正確さを求めなくてもよい。また、事務員や駅員の役が難しそうな場合は教師が相手を務める。

応用練習

既習者向けの練習。駅名は架空の名称のため、学習者の馴染みのある駅名を使用するとよい。また、1回練習したあと、学習者自身の財布を使用して行くと、より実践的な練習となる。

違う場面で

既習者向けの練習。事務室で教室に忘れたペンケースについて問い合わせる会話。学習者は実際忘れ物をすることがあるので、今まで自分が忘れたことのある物や、自分のペンケースについて問い合わせる会話を練習させるとよい。

10

事情を説明する・頼む

目標

わからないことを教えてほしいと頼めるようにする。頼む前に相手の都合を聞いたり、自分の事情を説明したりして、失礼にならない頼み方ができるようにする。この課では「わからない」という事情に限定して練習する。

学習項目

○相手の都合を聞く

「今、（お）時間（が）ありますか↑」

▶ NOTES1 練習 A-1

「今、（ちょっと）いいですか／よろしいですか↑」

▶ NOTES2 練習 A-1

「今、（ちょっと）いいでしょうか／よろしいでしょうか↑」

▶ 練習 A-1

○都合を聞かれたときの応答

「ええ、ありますよ」

「はい、何ですか↑」

「ええ、何でしょうか」

「ええ、いいですよ」

※「お時間がありますか↑」の応答としていろいろな表現が可能である。

○事情を説明する

▶ NOTES3 練習 A-2

「この漢字がわからないんですが……」

○頼む

▶ NOTES4 練習 A-3

「この漢字がわからないんですが、教えてください。／教えてくださいませんか↑」

○依頼を受けて受諾する

▶ NOTES5 練習 A-4

「はい、いいですよ」

「ええ、いいですよ」

○依頼が受諾されたあとに遂行されるように頼む

▶ NOTES6 練習 A-4

「お願いします」

○親しい友だちに都合を聞くとき、応答するとき

▶ 練習 A-1 Cf.

「今、時間（が）ある↑」「今、ちょっといい↑」

「うん、あるよ」「いいよ、何↑」

授業前の準備物

・ロールプレイカード 10-1 10-2 / イラストカード 3.地図

教えるときの留意点

絵：教室でアレンに友だちの中田が話しかける場面。

聞いて答えようはアレンの立場で状況を考えるのだが、最初に中田の立場になって、何と言って話しかけるか、みんなで話し合ってみてもよい。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

1) [中田：アレンさん、今、時間がありますか↑

可能な表現

「はい／ええ」「はい／ええ、あります」
「はい／ええ、何ですか↑」「はい／ええ、何でしょうか」

誤用例

「はい、時間です」
「～時～分です」
※今、時間がありますか↑を「今、何時ですか↑」と間違える学習者がいる。

不適切例

「いいえ、ありません」
※直接的すぎて失礼な印象を与える。この表現が出てきた場合は、失礼な印象を与えることを指摘し、学習者に適切な表現は何かを考えさせるとよい。例)「今はちょっと……」「今はちょっと忙しいです」
「すみません、今は忙しいです」



2) [中田：アレンさん、今、ちょっといいですか↑

可能な表現

「はい／ええ」「はい／ええ、何ですか↑」「はい／ええ、何でしょうか」
「はい／ええ、いいですよ」

誤用例

「はい、どうぞ」

練習 A-1

相手の都合を聞く表現とその応答表現のいろいろなパターンを、丁寧度を変えて練習する。応答の仕方が1つでないことに注意させる。

1. この課の冒頭の絵に示されている状況で、先輩やあまり親密度の高くない友だちに話しかけられた場合の応答練習。
2. 話し手として先生に都合を聞く練習。

Cf. 親密度が高い友だちとの会話である。相手によって表現を変えることを学習者に説明する。実生活で普通体で話しかけられた場合に聞いて理解できるようにする。

聞いて考えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。
以下の2種の表現を聞かせて、その違いを考えさせる。

- 1) [男：この漢字がわかりません。
- 2) [男：この漢字がわからないんですが……。

「わかりません」は丁寧体で、「わからない」は普通体なので、1番のほうが丁寧という意見も出てくる。
※1)と2)を聞いたとき、まず文末が違うことを気づかせる。次に音声の続きを聞かせ、相手の応答の違い、つまり文脈から2)の「わからないんですが」にどんな意味が含まれているかを考えさせる。

練習 A-2

ここではアレンと中田が冒頭の絵と逆の立場になっていて、アレンが中田に話しかけている。

練習 A-3

「Nがわからないんですが……」のあとに「教えてください」を明示した表現。「Nがわからないんですが……」だけより話し手の意図がはっきり伝わる。

⊗ この表現を正しく発音するのは学習者にとって難しいことがある。ここでは、「～んですが↑」と疑問文のように上昇イントネーションになる不適切例を挙げたが、他にも「～んですが。」と最後を短く切ったり、「わからないいんですが……」の「い」に強勢アクセントをおいて発音することもあるので、注意する。

練習 A-4

冒頭の絵とは逆の立場で、アレンが頼む練習。「お願いします」は、依頼が受諾され、その依頼行為がこれから行われる場合に使う表現。「すみません」、「ありがとうございます」などのお礼を言ってから使うこともある。

⊗ ③ 学生が宿題を出すことは義務なので、「あした持って来てください」は依頼ではなく指示にあたる。そのため「いいですよ」と答えるのは不適切である。

ロールプレイ

「わからないんですが……」を使って練習する課ではあるが、ロールプレイで学習者が使わなくても、コミュニケーションができて、情報を得ることができれば、あえて「わからないんですが……」を使うように指示する必要はない。

10-1 は尋ねられたほうが、イラストカード 3. 地図 を使用して行う。

応用練習

既習者向けの練習。先生に頼むときの丁寧な表現が含まれている。

違う場面で

既習者向けの練習。学習者は学生生活で宿題やレポートをメールに添付して送ることも求められるため、その際必要な語彙や表現が含まれている。

11

謙遜する・褒める

目標

相手から褒められたときの返答のしかたや、人を褒めるときの表現を学び、使えるようにする。

学習項目

○謙遜する・お礼を言う

▶ NOTES 1 練習 A-1

「いえいえ……」

「いいえ」

「まだまだです」

「とんでもないです」

「ありがとうございます。でも難しいです」

「ありがとうございます」

○褒める

「日本語（が）上手ですね」

▶ 練習 A-1

「すごい！」 「すごいですね」

▶ NOTES 2 練習 A-2

「その着物、すてきですね」

▶ 練習 A-3

※ここでは、形容詞を使った表現を提示。

○説明を求める・説明する

「日本へ来る前に習ったんですか↑」

▶ NOTES 3 練習 B-1

「両親からのプレゼントなんです」

▶ NOTES 3 練習 A-3

授業前の準備物

・ロールプレイクード 11-1 11-2

・褒めたり、褒められたりするコメントが出やすい小道具（例えば、教師自身が最近買った物、作った物、写真等、学習者の興味をひく物）などを準備するとよい。

教える時の留意点

絵：ホームステイ先の西川さんの家でアレンが、西川夫妻と日本語で話をしている場面。知り合っていない年上の人と話しているので、丁寧に話す必要があることに注意を向けさせる。ホームステイをしたことがあるか、日本人の家に泊まりに行ったことがあるかなどを学習者に尋ねて、ホームステイの家にいることを意識させる。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔西川：アレンさん、日本語、上手ですね。〕

可能な表現

お礼を言う：「ありがとうございます」

否定・謙遜する：「いいえ」「いえいえ」「いいえ、まだまだです」

「いいえ、まだ上手じゃありません」「とんでもないです」

不適切例

「はい」「はい、上手です」「まあまあです」

※話し手の個性、聞き手のとらえ方によって個人差があるが「はい」と答えると自信過剰な印象を与えることがある。謙遜したくない場合、「ありがとうございます」と言ってから、「もっと上手になりたいです」や「もっと勉強しなければなりません」のように言うといい。▶ ②

※日本では謙遜を美德と考える人がいるが、それぞれの学習者の国の文化にも配慮しながら、日本人の態度や考え方の傾向を紹介する。ここでは、否定して謙遜したり、お礼を言って素直に受けたりする表現を紹介し、バリエーションを示した。どのように応答するかは、学習者本人の意思を尊重するのが望ましい。

イントネーションや表情にも留意させる。▶ ②

練習 A-1

1)～3)は、相手の発言を否定して、謙遜する場合で、4)5)は、まずお礼を言って、相手の気持ちを受け入れる場合である。話すスピードや、イントネーション、表情、手振りなどで印象が変わるため、相手に失礼にならない自然な話し方を教師が示すとよいだろう。

考えよう 1

友だちのテストの成績がよかった、ということを受けて、その人に対しどうコメントするかを考えさせる。

可能な表現

「すごい!」「すごいですね」「がんばりましたね」「よかったですね」

「うらやましいです」「いいですね」

「わたし/ぼくは～点でした」

不適切例

「いい学生です」「いいです」

考えよう 2

パーティーに参加したときに、友だちの着ている物（ここでは、着物）を褒める言い方を考えさせる。

可能な表現

「きれいですね」「とてもいいですね」「その着物、すてきですね」「似合いますね」

不適切例

「着物はきれいです」

「着物はきれいです」と言った場合、この「は」は対比の意味で働き、「着物はきれいだか……」というように、着物だけ褒めている意味合いになる。

練習 A-3

教師が学習者の持ち物などについて何か褒めてそれに返答させたり、学習者同士で同様のことをさせるなどの練習を加え、教室内で意味のあるコミュニケーションとして練習ができるといい。

Cf. 「N が A.」（色がきれい）などの例を挙げた。

練習 B-2

パーティーで友だちの服装を褒めたあと、質問することで会話を続け、写真を撮ることを申し出る会話の一例である。1)、2)についても、何かを褒めたあと、それについて さらに質問をして、関心があることを示せるようにするとよい。

ロールプレイ

お互いのことに興味を持ち、質問をし合って会話を続けられるとよい。

応用練習

既習者、あるいは少し余裕のある学習者向けの練習。「日本に来る前」「日本に来てから」など時間関係を表す表現が含まれている。1)、2)の会話ではなく、学習者に得意なことがあるか尋ねて、それについて会話するように指示をしてもよい。

違う場面で

既習者向けの練習。この会話を練習してから、アレンの役を学習者自身のことで話す練習をするとよい。ここに含まれる文型や応答表現に拘らず自由に話すと、実践的な練習となる。

12

謝る

目標

宿題やレポートの提出や本の返却が期日までにできなかったとき、その理由を言って謝ることができるようにする。

学習項目

- 謝る ▶ 練習 A-1
「すみません」
- 事情を説明する ▶ NOTES 2 練習 A-1
「レポート（を）まだ書いていないんですが……」
- 行為が未完了であることを示す ▶ NOTES 1 練習 A-1
「レポート（を）まだ書いていないんですが……」
- 説明を求める ▶ NOTES 3 練習 A-1
「まだなんですか ↑」
※「まだなんですか」は暗に説明や理由を求めている。
- 理由を言う ▶ 練習 A-2
「かぜをひいて、寝ていたんです」
- 許可を求める ▶ 練習 A-3
「いいでしょうか」
- ある行為を確実に実行することを表明する／促す ▶ NOTES 4 練習 A-3
「レポートはかならず今週中に出します」
「かならず出してくださいね」
- 謝って会話を切り上げる ▶ 練習 A-3
「すみませんでした」
※謝る表現で会話を切り上げる。ほかに「申し訳ありませんでした」も使う。
- 状況が大きく変化したことを示す ▶ NOTES 5 練習 B
「もうだいぶよくなりました」

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード 12-1 12-2

教えるときの留意点

絵：アレンが山本先生の研究室にレポートをまだ書いていないことを言いに来た場面。

学習者に宿題やレポートを締め切りまでに出さなかったことがあるか、何と言って謝ったかなどを聞いてみる。

考えよう

可能な表現

- 「すみません。レポートを（まだ）書いていないんですが……」
- 「すみません。レポートを（まだ）書いていません」
- 「すみません。レポートを持って来なかったんですが……」
- 「すみません。レポートを持って来ませんでした」
- 「すみません。レポートはまだ終わっていないんですが……」

誤用例

- 「すみません。まだレポートを書きませんでした」
- 「すみません。レポートを書きません」
- 「すみません。レポートを書きませんでした」

※「すみません。レポートを書きません」は「これからレポートを書かない」という意志を示すことになる。「レポートを書きませんでした」は、レポートに関することはすでに過ぎ去ったという意味になり、相手に「レポートをこれから書く」意志がないと伝わってしまう。どちらも「これから書く予定がある」という状況下では誤用になる。

練習 A-1

謝る表現の「すみません」から始める。ほかに「申し訳ありません」も使う。言いにくい状況を説明する場合に「～んですが」の表現を使う練習である。

※「～んですが」の語尾を強く発話したり、上昇イントネーションになったりしないように注意する。

⊗「まだ宿題を出しません」は「まだ出さないつもりだ」という意志を表すことになる。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔山本先生：えっ、まだなんですか↑ 締め切りはきのうでしたけど、どうしたんですか↑〕

可能な表現

- 「かぜをひいて、寝ていたんです」「かぜをひいていたんです」
- 「かぜをひいてしまったんです」「かぜをひいたんです」「かぜだったんです」
- 「かぜをひきました」
- 「かぜをひきました」については「～んです」を使う方が自然である。

誤用例

- 「かぜがひきました」
- 「かぜです」 ※テンスのまちがい

不適切例

「かぜをひきましたから」「かぜをひいたんですから」
「から」は理由を積極的に述べて、自分の行為の正当性を主張しているように聞こえるので、相手に失礼な印象を与えてしまう恐れがある。

練習 A-2

先生から「どうしたんですか」と聞かれて、その理由を言う練習である。学習者には「～ました」を「～んです」に変えるのが難しい。特に3)の「ありませんでした」は「ありません」→「ない」→「なかった」→「なかったんです」と変換しなければならないので、答えが出るまで時間がかかると思われる。「ます形」を「普通形」にする練習が必要になる場合もある。

※「●関連語彙」(NOTESの前)に記載されている病気の表現を使用して、理由を言う練習をすると、応用の範囲が広がるだろう。

練習 A-3

許可を求める練習。「いいでしょうか」のほかに「よろしいでしょうか」も使う。

会話を切り上げるときはもう一度「すみませんでした」と謝る表現を使う。レベルによっては「申し訳ありませんでした」も紹介する。

※「かならず」と「ぜひ」を混同する学習者がいる。「ぜひ」は「ぜひVたいです」や「ぜひVてください」のように、話し手の強い願望を表す。

例 1) レポートは {○かならず ×ぜひ} 今週中に出します。

2) 新しいアパートに引っ越しました。 {×かならず ○ぜひ} 遊びに来てください。

※「今日中」は「きょうじゅう」と読み、「じゅう」が「ちゅう」にはならない。「今週中」と「今月中」は「こんしゅうちゅう/じゅう」、「こんげつちゅう/じゅう」の2通りの読み方が可能である。

▶●関連語彙 (NOTES の前)

ロールプレイ

12-1 12-2 の謝る役 A の学習者はロールプレイをする前に、どちらも約束の日が守れなかった理由を考えておく。

応用練習

既習者向けの練習。先生に使用する謙譲語の「お借りした本」をそのまま覚えて友だちにも使用することがあるので、友だちにはどんな表現を使用するか学習者に尋ねて、確認しておくとうい。

違う場面で

既習者向けの練習。謝る場面でよく起きる状況での会話。「～てしまう」の縮約形である「～ちゃう」を使用して、申し訳ない気持ちを表明している会話である。短い、自然な会話で普通体を使用しているので、学習者には難しいかもしれない。

13

苦情を言う

目標

トラブルにあったときに、相手との関係が悪くならないように配慮しながら苦情を述べ、問題解決ができるようにする。

学習項目

○程度を下げてやさしく伝える

「あのう、ちょっと音楽の音が大きいんですが……」

▶ NOTES 1 練習 A-1

○婉曲的に苦情を言う

「あのう、ちょっと音楽の音が大きいんですが……」

▶ NOTES 2 練習 A-1

「あのう、ここはわたしの席なんですが……」

▶ 練習 A-2

「あのう…みんな並んでいるんですが……」

▶ 練習 A-2

「かつ丼セットを注文したんですが……」

▶ 練習 A-2 Cf.

「今、勉強しているんですけど……」

▶ 練習 B

○理由を言って事情を説明する

「あした引っ越しするんです。それで、今準備しているんです」

▶ NOTES 3 練習 A-3

授業前の準備物

- ・ロールプレイクード 13-1 13-2 / イラストカード 8A. チケット 8B. チケット
- ・イラストカードのチケットは、列違いで同じ番号の映画館の指定席券。

教えるときの留意点

絵：アレンが寮の隣の部屋に行き、苦情を言っている場面。学習者の住んでいるところ（アパート、寮など）のルールや、大家や隣人との付き合い、これまでに経験した困ったことについて話すなどして、身近な問題としてとらえさせる。

考えよう 1

隣の部屋の音楽の音がとても大きく、試験勉強ができないという状況で、隣の人にどう話すかを考えさせる。

可能な表現

「あのう、ちょっと音楽の音が大きいんですが……」 「ちょっと音楽がうるさいんですが……」

「ちょっと音が大きいので、小さくしてください」 「すみません、ちょっと音楽の音が……」

「ちょっとボリュームを下げてほしい／いただきたいんですが」

不適切例

「うるさいです」

日本では最初に人に苦情を言う場合、直接的な言い方を避ける傾向がある。

練習 A-1

「～んですが」と言うときに、やわらかい言いさしではなく、「～んですが↑」と上昇イントネーションになったり、「大きいんですが」のように「い」の部分に強勢アクセントをつけて言ってしまうことがある。学習者にとって難しい発音なので、教師がモデルを示して練習するようにする。

⊗非常に直接的な言い方である。

考えよう 2

新幹線に乗ったとき、自分の席にほかの人が間違っ座っている場合に、その人に何と言うかを考えさせる。

1)

可能な表現

「あのう、そこ／ここ／ B-20 はわたしの席なんですが……」

「すみません、そこ、わたしの席なんですが……」

「何番のチケットを持っていますか／お持ちですか↑」

誤用例

「わたしのいすです」

「席」という単語がわからず、学習者は「いす」と言う可能性がある。

不適切例

「あなたの席は、違いますよ」

「ここはあなたの席ではありません」

「あなた」という言葉や、直接的な表現は避ける。

2)

可能な表現

「あのう、みんな並んでいるんですが……」

「すみません、ここが最後ではありませんよ」

「すみません、あちらが最後尾ですよ」

不適切例

「割り込みしないでください」「ここに入らないでください」

「割り込みしてはいけません」

「～てはいけない」は一般的な規則などの説明をする場合にはよいが、この場面では、直接的に相手を注意するような言い方になるので避ける。

練習 A-2

「考えよう 2」の会話例を示している。

聞いて考えよう

音声聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔アレン : あのう、ちょっと音が大きいんですが……。
上の階の住人 : すみません。あした引っ越しするんです。それで、

苦情を言われた人(上の部屋の住人)が「～んです。それで～」と理由を述べる。文脈と状況から「それで」のあとに相手が何を言うか、予測させる。そこから「それで」の使い方を類推させる。学習者がわからない場合は、続けて完成文で答えている会話を聞かせる。

可能な表現

「(引っ越しの)準備／片付け／パーティーをしているんです」

誤用例

「うるさいんです」

練習 A-3

接続詞の「それで」の使い方の練習。

ロールプレイ

イラストカード **8A. チケット** **8B. チケット** を使用して行う。チケットは、列違いで同じ番号の映画館の指定席券であるが、事前に見せ合うのではなく、ロールプレイの際に見せ合って確認するようにする。

応用練習

既習者向けの練習。店員に苦情を言う場面である。店員の言葉には接客のための尊敬語が多く出ている。学習者は聞いてわかればよい。レベルの高い学習者には、使用文型を紹介してもよい。

違う場面で

既習者向けの練習。レストランで、ほかの客がうるさいということを店員に話して、店員から注意してもらう会話。

14 独り言を言う・申し出る・電話をかける

目標

相手のために自分が何かをすることを、相手に押しつけないように申し出られるようにする。また、独り言と他の人と話す時の発話を使い分けられるようにする。

学習項目

○独り言を言う

「(試験が)終わった」

※普通体を使う。

▶ NOTES 1 練習 A-1

○申し出る

「国の料理を持って行きましょうか」

▶ NOTES 2 練習 A-2

○申し出に答える

「ありがとうございます。お願いします」

「ありがとうございます。でも、だいじょうぶです」

「ありがとうございます。でも、もういいです」

▶ NOTES 3 練習 A-2

○相手の発話を受けて、判断した結果を話す

「じゃあ、飲み物をお願いします」

▶ NOTES 4 練習 A-3

○間違い電話をかけたときの対応

「ピザホットではありませんか↑」

「すみません、間違えました」

▶ 練習 A-4

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード 14-1 14-2
- ・ピザを注文するときに使えるようなピザ屋の広告やメニューなどの実物があるとイメージしやすい。

教えるときの留意点

絵: 日本語の教室で学習者が試験が終わったことに安堵する場面。国の学校や日本語クラスの試験のこと、試験が終わったときの気持ちなどを学習者に尋ねて、同様の状況にいる意識を持たせる。

考えよう 1

試験が終わってうれしいときに何と独り言を言うか考えさせる。

可能な表現

「(試験が)終わった」

「やったあ」「うれしい」「つかれた」

誤用例

「試験が終わりました」「終わりました」

丁寧体で話すと、他者への話しかけになる。

練習 A-1

丁寧体で言った場合と普通体で言った場合を比較し、前者では他者への話しかけになることを意識させる。

※普通体の作り方は 15 課の表〈話し言葉のくだけた言い方〉を参照。

「かぎがない」「宿題を忘れた」などは、「物がなくて困った」「しまった! 宿題を持って来なかった」という困惑や驚嘆の感情を表す。

考えよう 2

試験が終わってパーティーをしたいとき、みんなに何と言うか考えさせる。

可能な表現

「みんなでパーティーをしませんか↑」「パーティーをしましょう」「パーティーをしましょうか」
「パーティーをしよう」「パーティーしない↑」

誤用例

「パーティーがあります」

不適切例

「みんなでパーティーをします」
パーティーをすることを断定しているので、不適切。

練習 A-2

この例は、「考えよう 2」の提案に対して、積極的に協力を申し出る会話である。

※申し出のときは「～Vましょうか」を使う。「国の料理を持って行ってあげます」「持ってあげます」「手伝ってあげます」「作ってさしあげます」などと言うのは押し付けがましくなり、不適切である。また、「手伝いましょうか」のつもりで「助けましょうか」という間違いもある。

聞いて考えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

下の会話を聞かせ、「じゃあ」に続く文を予測させる。

ナタリー：今晚、うちでパーティーしませんか↑
アレン：いいですね。何か買って行きましょうか。
ナタリー：ありがとう。じゃあ、

可能な表現

「飲み物／食べ物／ジュース／果物／花／お菓子をお願いします」「～を買って来てください」
「お願いします。（これだけで終えず、詳細を決める会話が続ける）」

誤用例

「またあとで」「また」
別れのあいさつの「じゃあ、またあとで」をひとかたまりの表現として覚えていて、会話の流れを考えずに答えることがある。

練習 A-3

3) のみ文脈が違うが、復習を兼ねて「じゃあ」の使い方を再認識させる。

3) ㊦の例

「日曜日はどうですか↑」「日曜日は↑」「来週の土曜日は↑」

㊦「来てください」という指示に対して「じゃあ」を使用して答えると、「先生がそう言うなら行きます」、あるいは「先生がそう言うなら仕方がないので行きます」という意味になり、失礼になるので不適切。

練習 B-1

1) 友だちと相談して、誕生日パーティーの準備の分担を決める。国の料理を作ったり、プレゼントやケーキを買ったりするといった役割が考えられる。

2) 薬を買って来る、飲み物や食べ物を買って来る、料理を作る、などの手伝いが考えられる。

ロールプレイ

14-1 では机やいすを出す／並べる、資料をコピーするなどの手伝いがある。自ら具体的な手伝いを申し出てもよいし、「何か手伝いましょうか」と言われた人が指定してもよい。

14-2 ではお皿やおはしを出す、テーブルを片付ける、野菜を切るなどの手伝いがある。

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

ピザを注文しようとして電話をかけたところ、以下のように相手が言ったとき、何と言うか考えさせる。

〔女：はい、レストラン田中です。〕

可能な表現

「ピザホットではありませんか↑」

「間違えました。すみません。」 「すみません。間違えました。」

「そちらは〇〇〇-〇〇〇（電話番号）ではありませんか↑」

不適切な対応

何も言わずに切る。

練習 B-2

店員役が難しいので、音声を聞かせて、それに答えさせる練習をしてもよい。

会話練習を行う際は、教師がピザ屋の広告、メニューなどの実物を用意するとよい。

応用練習

既習者向けの練習。「独り言を言う」、「申し出る」、「電話をかける」が全て含まれている自然な流れの会話である。忘れ物が多い学習者、あるいはそういう友だちがいる学習者には役に立つ会話である。

違う場面で

既習者向けの練習。居酒屋を予約する電話会話。 店員役が難しいので、店員の部分を音声で聞かせて練習する方法もある。

15

親しい友だちと話す

目標

普通体を使用して、親しい友だちを誘ったり、また誘われた場合に、それを受けたり断ったりできるようにする。また、映画やパーティーなどの簡単な感想を言ったり、感想を求めたりできるようにする。

学習項目

○くだけた話し方

・普通体使用

・助詞の脱落

「あした、映画（を）見に行かない↑」

▶ NOTES 1 練習 A-1

・「い」音の脱落

「見に行こうと思って（い）るんだけど」

▶ NOTES 5 練習 B

・女性的な文末表現

「6時から友だちとコンサートに行くの」

▶ NOTES 6 練習 B

○前置きとして状況を話す

「おもしろい DVD があるんだけど、いっしょに見ない↑」

▶ 練習 A-2

○誘う

「あした、映画（を）見に行かない↑」

▶ NOTES 2 練習 A-1

「おもしろい DVD があるんだけど、いっしょに見ない↑」

▶ 練習 A-2

○誘いを受ける

「うん、行きたい」

▶ 練習 A-1

「ああ、いいね」

▶ 練習 A-1

「うん、行こう」

▶ 練習 A-1

「いいね、行く、行く」

▶ 練習 A-1

「うん、見る」

▶ 練習 A-2

○誘いを断る

「んー、残念だけど……」

▶ NOTES 3 NOTES 4 練習 A-3

授業前の準備物

・ロールプレイカード 15-1 15-2

教えるときの留意点

絵：教室でアレンが仲のいいクラスメートのナタリーを映画に誘っている場面。今まで日本語で友だちを誘ったり誘われたりしたことがあるかどうかについて尋ねたり、友だちとの時間の過ごし方、また国で人気のある娯楽などについて話を広げてもよい。

考えよう

親しい友だちを映画に誘うという場面で、何と云うか考えさせる。日本語では、上下関係や、関係の親疎によって「です/ます」体（丁寧体）と普通体を使い分けるといふ話し言葉の大きな特徴がある。ここでは、普通体を使った誘い方を導入する。

可能な表現

「あした映画を見に行きませんか↑」（丁寧体）「あした映画（を）見に行かない↑」（普通体）
「映画、好き↑」「あした、ひま↑」「あした、時間ある↑」

誤用例

「あした、映画に行きますか↑」「あした、映画に行く↑」

不適切例

「映画に行きたいですか↑」「行きたい↑」

「～たい（ですか）↑」は、相手の欲求を直接的に尋ねる形であり、誘うときの表現としては不適切である。特に親しい間柄で、行きたいか否かだけを問う場合に限れば使用可能であるが、目上の人に対しては丁寧体で言ったとしても失礼になるので、注意が必要である。

練習 A-1

この課では練習問題の設定はすべて丁寧体で出しており、それを普通体に変換するのは、慣れていない学習者にとってはかなり難しいことがある。そのような場合は、品詞ごとにそれぞれの形がスムーズに言えるようにパターン練習が必要である。P. 158、159の普通体の表を使って確認してもよい。

※日常会話では、「映画（を）見に行きませんか」「映画（を）見に行かない」のように助詞の「を」が脱落することがある。特にくだけた話し言葉では、助詞の脱落の頻度が高くなる。話し言葉の特徴として、ここでそれを説明する。しかし、すべての助詞が脱落するわけではないことを伝えておいたほうがよい。

▶ 5課 ⑧

※「行かない↑」「なに↑」など、普通体の疑問文のイントネーションは学習者にとって難しいものが多いので、教師がモデルを示すか、音声を聞かせて正しいイントネーションで話せるようにする。

※誘いを受け、承諾する返答には「いいね」「行こう」「行く、行く」などを挙げた。これも教師や音声により正しいイントネーションを示すようにする。

※丁寧体の場合は、誘われて「いいですよ」と答えると高慢な印象を与える恐れがある。

練習 A-2

「S んだけど、V ない↑」というように、はじめに前置きを言ってから誘う表現の練習。

⑨の例

- 1) 「いっしょに行かない↑」
- 2) 「いっしょに飲まない↑」
- 3) 「来ない↑」

聞いて答えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

パーティーに誘われたが、都合が悪くて行けない場合に何と言って断るかを考えさせる。

〔ナタリー：今晚、うちでパーティーするんだけど、よかったらアレンさんも来ない↑〕

可能な表現

「今晚（きょう）はちょっと……」「んー、残念だけど」

「今晚は行けない。ごめんね」「今晚は行けないんだ」「今晚は都合が悪くて……」

誤用例

「来ません」「来ない」

不適切例

「行きません」「行かない」「行きたくない」

※「来ない↑」と尋ねられて「来ない」と答えるといった、言われたことを機械的に繰り返すことによる誤用があることがある。また、「行きません／行かない」と言うと、否定の意志を表明することになり「行きたくない」というニュアンスまで含意されるので、「行けない」のような可能の否定形を使うことに留意する。

練習 A-3

相手の感情を害さないように断る表現の例を示す。

☺の例

- 1) 「行かない↑」 2) 「食べない↑」 3) 「行かない↑」 4) 「行かない↑」

練習 B

「～ている」の「い」が脱落して「～てる」という発音になることを紹介する。また、「行くの」「そうなの」という女性的な表現も挙げた。

聞いて答えよう2

音声聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔ナタリー：きのうの映画、どうだった↑

映画の感想を求められたとき、何と言うか考えさせる。

※「よかった」など一言だけで答える学習者がいる。初級後半レベルの学習者の場合、さらに会話力を伸ばすために「何がよかったか／どこがよかったか」など掘り下げて聞くとよい。そうすると、例えば、「ストーリーがよかった」などと言うようになったり、また相手に「よかった」と言われた学習者が「何がよかった(の)?」のように質問をして、会話を続けられるようになる。

※映画の感想を聞かれているのに、「人が多かった」「後ろの人がうるさかった」「チケットが高かった」など感想以外のことを先に答えることがある。基本的にまず映画自体の感想を述べてから、ほかのことを言うほうがコミュニケーションがスムーズであることを伝えるとよい。

可能な表現

「すごくおもしろかったよ」「すごく感動した」「すっごく怖かった」

「ストーリーがおもしろかった」「絵がきれいだった」

「あまりおもしろくなかったんだ」「長くて眠くなった」「つまらなかった」

※友だちとの会話なので、「めっちゃ(泣いた)」など、くだけた表現もバリエーションとして許容してよいだろう。

誤用例

誤用例はあまり出ない。「すごくおもしろい」と現在形で答える学習者がいるが、映画の感想なら、現在形でも問題はない。

ロールプレイ

15-1 15-2のロールプレイカードのBには、予定が書いてあり、AとBにはインフォメーションギャップがある。両者が自分の状況をよく認識した上で、互いに質問し合いロールプレイを行う。お互いの都合のいい時間を相談して約束を成立させてもいいし、断ってもよい。誘いを受けた場合は、実際に会えるように待ち合わせ時間・場所などまで決めるようにする。

※親しい友だちを誘うという設定にすれば、6課の6-1 6-2のロールプレイカードも使うことができる。

応用練習

既習者向けの練習。ここではカラオケに誘う例が挙げられているが、授業では学習者の趣味や興味・関心に合わせ、映画のチケットや美術館のチケット、食事の割引券など身近な小物を用意して、自由に会話を作

らせるようにする。

違う場面で

既習者向けの練習。誘うだけではなく、映画を見たあとに感想を言い合う会話が含まれているので、自分が見た映画についても感想を言う練習をするとよい。

16

許可を求める

目標

会話の始めに相手と共有している話題を提示して、会話をスムーズに進められるようにする。また、相手に自分の希望を伝えて許可を求めることができるようにする。

学習項目

○話題を提示する

「あしたのクラスのことなんですが……」
「来週のパーティーのことなんだけど……」

▶ NOTES 1 練習 A-1

○希望を伝える

「あした少し早く帰りたいんですが、よろしい／いいでしょうか」
「このカタログをもらいたいんですけど、いいですか↑」
「リーさんの電子辞書、ちょっと借りたいんだけど、いい↑」

▶ NOTES 2 練習 A-2

○許可を求める

「あした少し早く帰りたいんですが、よろしい／いいでしょうか」
「このカタログををもらいたいんですけど、いいですか↑」
「リーさんの電子辞書、ちょっと借りたいんだけど、いい↑」
「午後の授業を休んでもよろしい／いいでしょうか」
「あしたのクラスを休ませていただけませんか」

▶ NOTES 3 練習 A-2

▶ 練習 A-3

▶ NOTES 4 練習 A-3 Cf.

▶ 練習 A-2 練習 A-3

○許可を求められたときの応答

「いいよ」
「いいですよ」

※断るときの応答は 19 課 **練習 A-3** 参照。

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード **16-1** **16-2**

教えるときの留意点

絵：アレンが日本語の森先生のところに行って、欠席の許可をもらうために話をしている場面。今までに欠席したいとき、先生に許可を求めたことがあるか、またそのときどのように話したかを学習者に尋ねて、学習者が自分のこととしてイメージできるようにするとよい。

考えよう 1

クラスを休みたいとき、先生に何と言って話し始めるか考えさせる。

可能な表現

「先生、あしたのクラスのことなんですが……」 「あしたのクラスですが……」 「あしたのクラスなんですが……」
「あのう、すみません」 「今、お時間ありますか↑」 「今ちょっといいでしょうか」

誤用例

「あしたのクラスについて話します」

練習 A-1

「あしたのクラスのごと^{なん}なんですが……」のように下線部のアクセントを間違えて、「何ですか↑」の「何」のアクセントと同じように発音する学習者がいるので、注意する。

⊗相手が共有した情報を持っていない状況で使うと唐突で不自然になる。

考えよう2

可能な表現

「あした、早く帰りたいんですが、よろしい／いいでしょうか」「あした、早く帰りたいんですが」
「あした、早く帰ってもいいですか↑」「あした、両親が来るので、早く帰りたいんです」
「あした、早く帰らせていただけませんか↑」

誤用例

「あした早く帰りませんか↑」

不適切例

「あした、早く帰ります。いいですか↑」
「あした、空港に行かなければなりません」
自分の都合だけを一方的に述べるような言い方であるため、不適切になる。

練習 A-2

「よろしいでしょうか」「いいでしょうか」に加え、「よろしいですか」も使用可能である。1. が最も丁寧で、2. 3. の順に丁寧度が下がる。3. は普通体の会話。
「～たいんですが……」は希望を伝える表現だが、これだけでも依頼表現になる。

練習 B

話題を提示したあと、「少し早く帰りたい」ではなく、「1時半ごろ帰ってもいいか」という具体的な許可求めを行い、そのあと事情を説明する方法もある。

※「行かなければならないんです」は長い表現なので、学習者にとっては言いにくいことが多く、途切れ途切れになってしまうことがある。「行かなければ」は一気に言うように指示するとよい。

ロールプレイ

16-1は、友だちに許可をもらうロールプレイ。丁寧体か普通体か、どちらで話す関係かを学習者自身に設定させて、行うとよい。

応用練習

既習者、あるいは少し余裕のある学習者向けの練習。学習者にとって難しい場合は、教師役は教師が務める。

違う場面で

既習者向けの練習。学習者は奨学金やインターンシップなどの面接を受ける機会があるので、その状況の会話とした。この会話を練習してから、アレンの役を学習者自身のことで話す練習をするとよい。

17

お見舞いに行く

目標

知人のお見舞いに行って、けがの原因・具合や病気の症状などを聞いたり、共感を示したりできるようにする。

学習項目

- 具合を聞く ▶ 練習 A-1
「足はどうですか↑」
- 原因を聞く ▶ 練習 A-1
「足、どうしたの↑」
- 原因を説明する ▶ 練習 A-1
「テニスで転んでしまったんだ／転んじやったんだ」
- 共感を示す ▶ NOTES 1 練習 A-1
「大変ですね」
「大変でしたね」
「よかったですね」
- 完了までの残りの時間を示す ▶ NOTES 2 練習 A-2
「あと1週間ぐらいかかるそうです」
- 予想と比較して感想を述べる ▶ 練習 A-3
「思ったより早くてよかったです」
▶ 練習 A-3 Cf.
「思ったとおりの道がきれいですね」
- 会話を終える ▶ NOTES 3 練習 A-4
「お大事に」
▶ 練習 A-4 Cf.
「どうぞお大事に」
▶ 練習 B
「じゃあ、お大事に」

授業前の準備物

- ・ ロールプレイカード [17-1] [17-2]
- ・ [17-2]用に漢字クラスのプリントと作文の宿題に相当する紙等を準備しておくといよい。

教えるときの留意点

絵：アレンが病院に足の骨を折ったキムをお見舞いに行った場面。病気やけがをした人をお見舞いに行ったことがあるか、入院したことがあるかなどを学習者に尋ねてみる。

聞いて考えよう 1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。
アレンがキムさんと言ったあとに、何と言うか考えさせる。

〔 アレン：失礼します。
キム：あ、アレンさん！
アレン：キムさん、

可能な表現

「足はどうですか↑」「こんにちは、足はいかがですか↑」「だいじょうぶですか↑」
「大変でしたね」「痛そうですね」

不適切例

「お元気ですか↑」
元気そうに見えたとしても、けがをした人や病気の人に「元気ですか」と聞くのは配慮が足りない印象を与える。

練習 A-1

- 1) は現在の病状や状態に対しての同情や労り、2) は現在の病状や状態に対しての共感、3) は過去に起きた事態に対しての同情や労りを表す。
2. けがの原因を聞いたり、答えたりする練習。ここでは人物の設定は限定しない。
3. 病気やけがの表現が「●関連語彙」(NOTESの前)にあるので、それらの表現を使用して、「どうしたの?」「どうしたんですか」という質問に答える練習をさせるとよい。

⊗「大変ですね」と「残念ですね」はどちらも同情や労りを示す。「残念ですね」は思った通りにいかなかったことに対する心残りや悔しい気持ちがある。病気、けが、仕事などで身体的に負担がかかる場合は「大変ですね」を使う。

聞いて考えよう2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

- 1) { 先生：これから試験を始めます。
学生：先生、試験は何分ですか↑
先生：90分です。
 - 2) { 学生：先生、試験はあと何分ですか↑
先生：15分です。
- 1) 試験の全体の時間を尋ねている。
 - 2) 試験の残り時間を尋ねている。試験が始まるまであと何分か、という質問ととらえる学習者もいる。

練習 A-2

授業の残り時間、試験までの期間、その月の残りの日数などを聞いて練習することもできる。時間以外にも、不足したプリントの枚数、本の残りのページ数や、残りの人数などを例示することもできる。

練習 A-3

「思ったより早くてよかったです」は学習者に理解されにくい場合がある。誰が思ったか、何が早かったか、何がよかったかなどを学習者に尋ね、理解の程度を確認するとよい。

「思ったほど～ない」：否定の時には「思ったより寒くなかった」より「思ったほど寒くなかった」が望ましい。だが、日本人でも「思ったより～ない」を使っている人がいる。

練習 B

- 1) けがをした理由も聞く。この会話例にはないが、p.187の◎、練習 A-4 の Cf. の表現を参考に、「どうしたんですか」「どうなさったんですか」などを使用する。

ロールプレイ

17-1 A では、手伝いの申し出をするように書いてあるが、「V ましょうか」の文型にこだわらなくてもよい。

17-2 A の役の学習者には漢字プリント用の紙を、17-2 B の役の学習者には作文の宿題用の紙を渡す。

応用練習

既習者向けの練習。ここでの会話は相手が先生なので、敬語が使えるようにする。「もうだいぶよくなったんですけどね」にある終助詞の「ね」には、先生がアレンと「自分の具合がよくなって、うれしい」ということを共有しようとする気持ちが表れている。

違う場面で

既習者向けの練習。友だちの部屋にお見舞いに行く会話。学習者は応答が上手にできないことがあるので、どのように応答しているかにも注目させる必要がある。

18

申し込みをする

目標

申込書などの必要な書類をもらったり、係の人の指示を聞いて申込書に記入したりできるようにする。また、日本人が日常生活でよく使用する「お願いします」を、様々な状況で使えるようにする。

学習項目

○用件を話す

「ホームステイの申し込みに来たんですが……」

「アパートを探したいんですが……」

▶ NOTES 1 練習 A-1

▶ 16 課 NOTES 2

○場所／手段／対象を指定する

「ここをお願いします」

「1 から 4 までをお願いします」

「ボールペンをお願いします」

「これ、アレンさんをお願いします」

▶ NOTES 2 練習 A-2

○自分の行為の結果の是非を尋ねる

「これでいいですか ↑」

▶ 練習 B

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード [18-1] [18-2]
- ・イラストカード 9. ホームステイプログラムパンフレット 10. バスツアーパンフレット
- ・練習 A-2 1. 用のイラストカード 第 18 課用 (練習 A-2) の「ホームステイの申し込み用紙」
- ・練習 B 2) では、ポイントカードの実物を例で見せるとわかりやすい。

教えるときの留意点

絵：事務室でアレンがホームステイの申し込みをしようと思って、事務の人に話す場面。ホームステイをしたことがあるか、してみたいかなどを学習者に尋ねて、ホームステイの申し込みをする状況を設定する。

考えよう

ホームステイの申し込みをするとき、事務の人に何と言うか考えさせる。

可能な表現

「あのう、すみません。ホームステイの申し込みに来たんですが……」

「ホームステイの申し込みをしたいんですが」

「ホームステイのことなんですが」

「ホームステイの申し込みをしようと思っているんですが」

「ホームステイをしたいんですが」

不適切例

「ホームステイの申し込みをします」

聞いて答えよう

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

[事務の人:じゃあ、この用紙に書いてください。ここをお願いします。]

可能な表現

「はい、わかりました」「ここですね、わかりました」「はい」

練習 A-2

「名詞＋助詞＋お願いします」の練習。「V てください」を「お願いします」に置き換え、本来の動詞と名詞の格関係に応じた助詞を使って話す練習。格関係によって「に」「を」「まで」「で」などを用いる。
※先行発話に動詞が出ていて明らかな場合、あるいはその状況から意味が明らかな場合に、「V てください」の代わりに「お願いします」が使用できることを意識させる。

1. 「お願いします」は、具体的な動詞を使うと、1)、2)、3) すべて「書いてください」になる。事務の人の先行発話で動詞が出ていて明らかなので、「お願いします」に置き換えられる。

※イラストカード第18課用(練習A-2)がここで使用する「ホームステイの申込用紙」となっている。

2. この課の「申し込み」の状況とは異なる場面である。中田の発話の「お願いします」は、1)は「置いてください」、2)は「買ってください」、3)は「撮ってください」が本来の動詞。

3) ㊦の例

「花の横で／ドアの前でお願いします」

3. 会話の中に先行の動詞がない場合の練習。文脈と状況から「渡してください」が本来の動詞だとわかる。

※学習者に動詞を使う場合は、何を使うか尋ねると、明確になる。ほかに、次のような例がある。

〔配達員：宅急便です。サイン(を)お願いします。(してください)
アレン：はい。〕

〔リー：あしたの引っ越しの手伝い、何時ですか。
アレン：10時お願いします。(来てください)〕

※時間があれば、ほかの課の「お願いします」(1課、2課、4課、5課、10課、14課)を復習しながら、「お願いします」の用法をまとめるとよい。

㊦対象を表す「に」を省略してしまうと、意味が不明確になる。

「を」や「が」や「は」が省略されるからといって、対象・着点を表す「に」や場所・手段を表す「で」、「から」「まで」を省略すると意味が不明確になるので、省略しないように注意させる。

練習 B

ホームステイなどの申し込み用紙を用意するとよい。2)ではポイントカードの実物を例として見せるとわかりやすい。

この会話内の3つの「ここ」はすべて異なる場所を示しているので、状況をよくイメージさせる。

※「～にも書きますか」という質問に対して「～には書かなくていいです」で答える。そこには～は、ほかの部分を書く必要があるが、その部分を書く必要がないという意味になる。「～にも書かなくていいです」と言った場合、ほかの部分も書かなくていいという意味になってしまう。

※学習項目に挙げている「これでいいですか↑」は練習Bの中にしかないなので、ここで練習して使えるようにする。目上の人に対しては「これでよろしいでしょうか」を使ったほうが丁寧である。

ロールプレイ

ロールプレイのBの役は、事務員と旅行会社の社員なので、学習者が行うのは難しいことがある。教師が行うか上手な学習者にさせるとよい。

イラストカード 9. ホームステイプログラムパンフレット 10. バスツアーパンフレット を使用して行う。

応用練習

既習者向けの練習。口座、身分証明書、印鑑、暗証番号など生活に必要な語彙が含まれている。練習ができなくても、音声を聞かせて、語彙を紹介しておく役に立つ。

違う場面で

既習者向けの練習。市立図書館や区立図書館で利用者カードを作ってもらう会話。学習者が住んでいる地域の図書館を利用できると便利なので、練習をしなくても、誰でも地域の図書館が利用できることを伝えるとよい。

19

頼む・頼まれる

目標

目上の人や友だちの気分を害さないように、何かを頼めるようにする。また、頼まれたときに適切に受けたり断ったりできるようにする。相手や頼みごとの内容に応じて適切な丁寧さ、表現が選択できるようにする。

学習項目

○用件を切り出す

「お願いしたいことがあるんですけど／が……」
「お願い／頼みたいことがあるんですけど／だけど……」

▶ NOTES 1 練習 A-1

○用件の切り出しに対して答える

「うん、何↑」
「はい、何ですか↑ /何でしょうか」

▶ 練習 A-1

○頼む

「チェックしていただけますか／くださいませんか↑」
「教えてもらえますか／くれませんか↑」
「貸してもらえますか／くれますか↑」
「京都のガイドブックを貸してもらえない / くない↑」

▶ NOTES 2 練習 A-2

○前置きとして状況を説明する

「パソコンが動かないんですけど」

▶ 練習 A-3

○頼みを受ける

「ええ、いいですよ」
「うん、いいよ」

▶ 練習 A-2

○頼みを断る

「ごめん」
「すみません、今はちょっと……」

▶ 練習 A-3

○断りの理由を説明する

「ぼく（わたし）もこれから使うんだ」
「先生と約束があるんです」

▶ 練習 A-3

○期限を尋ねる

「いつまでにするんですか↑」

▶ NOTES 3 練習 A-4

○期限を示す

「来週の金曜日までにお願いします」

▶ NOTES 3 練習 A-4

○動作の断続する最終時点を表す

「いつまで日本にいるんですか」
「来年の3月までいます」

▶ NOTES 3 練習 A-4 Cf.

授業前の準備物

- ・ ロールプレイカード [19-1](#) [19-2](#)
- ・ [19-1](#) のロールプレイでは、日本語で書いた手紙を使用するので、手紙を準備するとよい。

教えるときの留意点

絵: 研究室で本を読んでいる高木にアレンが日本語で書いたレポートのチェックを頼もうとしている場面。学習者に、何か頼まれたことがあるか、また頼んだことがあるかなど聞いてみて絵の状況を意識させる。

考えよう1

本を読んでいる先輩の高木さんにレポートのチェックを頼みたいとき、はじめに何と言うか考えさせる。

可能な表現

「お願いしたいことがあるんですが／けど」

「お願いがあるんですが／けど」

「あのう、すみません」

「今、時間がありますか↑」 ※相手が忙しそうな場合は使用不可

「今、ちょっといいですか↑」

「レポートのことなんですが／けど」 ※聞き手が知っているときのみ使用可

会話の開始の表現だけではなく、**考えよう2**で行う依頼の表現がここで出てくることがある。その場合、**考えよう2**といっしょにここで行う。

誤用例

「今、暇ですか↑」

聞いて答えよう1

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。

〔高木: あのう、お願いしたいことがあるんですけど……。〕

可能な表現

「はい、何ですか↑」「はい、何でしょうか」「え、何ですか↑」

不適切例

「うん、何ですか↑」「うん、何↑」

練習 A-1

頼む相手によって丁寧さが違うことに注意させる。相手への負担度あるいは状況によっては使用しないこともある。

⊗ 本を貸し出すのは図書館の人の仕事なので、「お願いしたいことがあるんですが」と用件を切り出すのは不自然。ただし、文献や本の取り寄せなど特別に手間をかけることを頼むときは使用することもある。

考えよう2

先輩の高木さんにレポートの日本語のチェックを頼むとき、何と言うか考えさせる。

「考えよう1」ですでに学習者から依頼の表現が出てきていたら、「考えよう1」と「考えよう2」をいっしょにしてもよい。

可能な表現

「日本語をチェックしていただけますか／くださいませんか↑」

「日本語をチェックしていただけますか／くださいませんか↑」

「日本語をチェックしてもらえませんか／くれませんか↑」

「日本語をチェックしてください」

「間違っているところを直してください」

誤用例

「日本語をチェックしませんか↑」
「日本語をチェックしてもいいですか↑」
「チェックしてもいいですか」は、チェックする行為者が「誰」かを考えずに起こす誤用である。
「Vでもいいですか」の過剰使用によっても起こる、とても多い誤用。
「チェックしてお願いします」「チェックしてくれてもいいですか↑」
「チェックしていただきませんか／もらいませんか↑」
既習者の中には癖のように「Vてお願いします」と無意識に言う学習者がいる。
「いただきませんか／もらいませんか↑」のように可能形にしないこともある。
「チェックしてくれてもいいですか↑」は、日本人が使用している「チェックしてもらってもいいですか↑」から派生した誤用であると考えられる。

不適切例

「チェックする↑」
「チェックできる↑」
「チェックする／できる↑」は、意志や可能性、能力を尋ねているので、頼む相手が誰であっても失礼になる。

練習 A-2

※この段階で、ここの依頼表現が全部使えるようになる必要はなく、聞いてわかればよい。使用表現としては、とても丁寧な表現、丁寧な表現、くだけた表現の最低3種が使用できるようになればよい。
※会話の相手だけではなく、頼む内容、つまり相手への負担度によっても丁寧さを変える必要があることを説明する。

例1) { アレン：悪いけど、500円貸してくれる↑
小川：いいよ、はい。

例2) { アレン：お願いしたいことがあるんだけど……。
小川：何↑
アレン：10万円、貸してもらえませんか↑／貸して欲しいんだけど……。

聞いて答えよう2

音声を聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。
これから先生と会う約束がある場合、どのように応答するか考えさせる。

{ 高木：アレンさん、お願いしたいことがあるんですけど……。
アレン：何ですか↑
高木：パソコンが動かないんですけど、ちょっと見てくれませんか↑

可能な表現

「すみません、今はちょっと……。先生と約束があるんです」
「今はちょっと……。すみません」
「すみません、これから先生のところに行かなければならないんです」

不適切例

「だめです」
「これから先生に会いに行きます」
直接的に断ると相手が気分を害することがある。また、「行きます」のように自分の意志を表明すると、頼みを引き受けずに自分の意志で先生のところに行く、という意味になり相手の気分を害することがある。

練習 A-3

まず謝ってから理由を説明する例を示したが、先に理由を言ってから謝ってもかまわない。

⑥の例

1. 1) ③水曜日はちょっと……。試験があるんです／東京で学会があるんです
2) ③日曜日はちょっと……。実験しなければならないんです／ホームステイに行くんです
2. 2) ①ちょっと携帯電話貸してもらえない↑
②忘れてきちゃったんだ／バッテリーが切れているんだ
①英語教えてくれない↑
②今、論文書いていて忙しいんだ／これから銀行に行かなきゃならないんだ

⑧

友だちに消しゴムを借りるという相手への負担度が低く、その場ですぐ依頼した行為が終了する場合、「お願いしたいことがあるんだけど／ですが」を使用するのは不自然。このような段階を踏むほど相手へ負担をかけることではない。

練習 A-4

「までに」と「まで」の違いに気づき、「に」の機能を理解して「に」を落とさ省略しないようにする。

練習 B

学習者は無意識に文字を追っているだけのことがあるので、会話の流れや応答、使用表現などを意識させるとよい。

※「日本語でレポートを書いたんですけど」のような前置きを入れて、頼めるようにする。

※「来週の金曜日までをお願いしたいんですが……」のように動詞の代わりに「お願いする」を使用していることを意識させる。

ロールプレイ

手紙が準備してあれば、**19-1** のロールプレイで使用するとよい。

※練習 B では、頼むだけで断る場面がないが、ロールプレイでは断ることも可能な状況設定にしてある。しかし、断るかどうかは学習者に任せる。

この課のロールプレイカード以外に **10-1** **10-2** も使用できる。

応用練習

既習者向けの練習。既習者の場合、「Vてもらってもいいですか」を多用する学習者がいる。これは依頼と言うより許可求めであるため、先生に丁寧に頼む場合は使わないほうがよいことを指摘するとよい。

違う場面で

既習者向けの練習。依頼の表現だけではなく、会話の流れや応答表現、気持ちの伝え方など、円滑なコミュニケーションにするという視点で練習させることが重要である。

20

アドバイスを求める

目標

日本の習慣がわからないときや、何か困ったときに、アドバイスを求められるようにする。また、友達にアドバイスを求められたときに、アドバイスできるようにする。

学習項目

○会話を始める

「ちょっと聞きたいことがあるんですけど」

※ほかに、「ちょっと相談したいこと／お聞きしたいことがあるんですけど」など。

▶ 練習 B

○アドバイスを求める

「先生のお宅に行くんですけど、何か持って行ったほうがいいですか↑」

▶ NOTES 1 練習 A-1

「どんなものを持って行ったらいいですか↑／いいでしょうか」

▶ NOTES 2 練習 A-2

「どうやって使ったらいいですか↑／使えばいいですか↑」

▶ 練習 A-2 Cf.

「どこで聞いたらいい↑／聞けばいい↑」

▶ 練習 A-2 Cf.

「どうしたらいいですか↑／どうすればいいですか↑」

▶ 練習 A-2 Cf.

○アドバイスをする

「持って行ったほうがいいと思いますよ」

▶ NOTES 1 練習 A-1

「果物はどうですか↑」

▶ 練習 A-2

「お菓子がいいと思いますよ」

▶ 練習 A-2

○アドバイスを求められ、提案を切り出す

「それなら、駅前の「ミルク・ハウス」がいいですよ」

▶ NOTES 3 練習 A-3 Cf.

○提案を受け、結論を述べる

「それなら、ケーキにします」

▶ NOTES 3 練習 A-3

「そうします」

▶ 練習 A-4

○婉曲に意見を述べる

「お子さんがいらっしゃるから、お菓子がいいかもしれませんね」

▶ NOTES 4 練習 A-4

授業前の準備物

- ・ロールプレイカード 20-1 20-2
- ・観光ガイドに役立つ地図やパンフレット、写真など。あるいは地図を描く場合は、白紙とペンなど。

教えるときの留意点

絵：研究室でアレンが、山本先生の家を訪問することについて、高木に相談している場面。これまで日本人の家に行ったことがあるかどうかを尋ねたり、学習者の国の「手土産」「(旅行の)お土産」など贈り物の習慣について尋ねるとよい。

考えよう

アレンは指導教員である山本先生に自宅に招待されたとき、手土産があるかどうかを先輩の高木に相談したい。その場合、何というか考えさせる。

可能な表現

- 「先生のお宅に行くんですけど、何か持って行ったほうがいいですか↑」
- 「お土産を持って行ったほうがいいですか↑」
- 「日本人は、こんなとき何か持って行きますか↑」
- 「どうしたらいいですか↑」
- 「どうしたらいいか、教えてください」

誤用例

- 「何をするほうがいいですか↑」
 - 「何をしたらいいですか↑」
- 学習者は、アドバイスは「～たほうがいい」の文型を使うと思いついでいることがあるので、注意をする。
「～たらいいですか」と「～たほうがいいですか」の使い分けについては、NOTES1、NOTES2 参照。

練習 A-1

- 4) 5) は「夜遅くは話さないほうがいいです」といったように「Vないほうがいいです」の形に変換する。

練習 A-2

- 3) ㊦の例
- 「約束の時間の前に行かないほうがいいですよ」
 - 「靴を脱いだら、揃えておいたほうがいいと思いますよ」

練習 A-3

相手の提案を受けて、自分が決めたことを伝える「それなら」の使い方の練習。

㊦の例

- 1) ビール、ワイン、日本酒など
- 2) 本、雑誌、写真集、小説など

Cf. 相手の相談を受け、提案やアドバイスを与える「それなら」の例。

聞いて答えよう

音声聞かせて行う。ウェブサイトにある音声スクリプト参照。
ここでは、この課で学習したことの復習として、旅行の話題で「～たらいいですか」「～ほうがいいですか」という複数の質問文を聞いて答えるという活動をする。学習者自身の国や地方について考えさせる。

- 1) [女：アレンさんの国に行ってみたいんですが、何月ごろ行ったらいいですか↑
- 2) [男：アレンさんの国に行ってみたいんですが、どんなところに行ったらいいですか↑
- 3) [女：12月にアレンさんの国に行ってみたいんですが、コートを持って行ったほうがいいですか↑

可能な表現

- 1) 「秋（季節）／10月がいいと思いますよ」
- 2) 「山／湖／バンカーバー（地名）／ナイアガラの滝（場所名）はどうですか↑」
- 3) 「そうですね。寒いので、持って行ったほうがいいと思います」

※上記が終わったら、学習者をペアにしてお互いの国、地方について質問し合う練習をする。

ロールプレイ

学習者自身が今住んでいる町について、あるいは故郷についてアドバイスをするタスクなので、学習者自身が情報を持っており、「話したい」というモチベーションが高まると考えられる。

※**聞いて答えよう**でペアワークをした場合は、**20-2**をするときに、ペアを変える。

応用練習

既習者向けの練習。学習者が興味があれば、日本の結婚式について説明したり、学習者の国の結婚式について話させたりするとよい。

違う場面で

既習者向けの練習。会話例で使用表現、会話の流れ、応答表現などを練習してから、学習者が旅行したことがある場所について同様の会話をさせるとよい。

授業実践例

第3課「場所を聞く」

これは実際に第3課を行った授業の実践例である。まず、授業の流れと学習者の考えている様子や応答がわかるように、表に整理して示している。次にロールプレイの実例を紹介している。この授業を実施したのは、来日間もない日本語未習者のクラスであるため、応用練習、および「違う場面で」は含まれていない。地名や駅名などは、学習者が実際に住んでいる地域に実在するものに変更している。

なお、学習者の人数や出身地域、またクラスの雰囲気など、条件が異なる場合は授業展開や時間配分などは異なることが予想される。

【課の目標】

知らない人にトイレや郵便局、銀行などの場所を聞き、確実に情報を取れるようにする。また、自分が知らない人に場所を尋ねられたときに適切に応答できるようにする。

【クラス構成】

学習者のレベルは、授業開始から1週間ほど経過した日本語未習者。国籍は、エジプト、フィリピン、ミャンマー、インド、中国、イランなど計10名。

【留意点】

まだ文字が読めない学習者がいるので、できるだけ教科書を読ませずに、聞かせて練習を行った。また、日本語未習者であるため、日本語と英語を交ぜながら指示や質問を行った。(ただしここでは、教師の発話はすべて日本語で表示してある。)

【使用マークの説明】

🔊 : 音声ファイルの音声

太字 : 活動・様子

T : 教師の発話

S : 学習者の発話

「」 : 学習者の日本語での発話(学習者の発話内にある「○○」。これ以外は英語での発話だが、適宜英語のまま、あるいは簡潔な日本語で記した)

☺ : 正用・回答として適切な考え／表現

☹ : 誤用・回答として不適切な考え／表現(学習者の発話自体を不適切としているのではない)

【授業実践例】

流れ	授業内容	学習者の発話・様子	時間 (分)
開始	あいさつ、ウォーミングアップ		
絵	絵を見せて状況を把握させる T: ここは札幌駅です。 いくつか質問をして、自分が現在絵の状況 にいることを意識させる T: 札幌駅に行ったことがありますか。	経験を話す	3
聞いて 答えよう 1	状況を説明して音声を聞かせる T: 知らない日本人があなたに音声のように話し かけました。何と答えますか。音声を聞いてくだ さい。		5
1)	♪ 1) すみません。 多くの応答を引き出す T: ほかの答えは? 学習者が出した応答例に対して是非を言わず、 応答のある音声の続きを聞かせる T: じゃあ、次を聞いてください。 ♪ 女: すみません。 男: はい。 ♪ 女: すみません。 男: はい、何ですか	音声を聞いて答える S: 「はい」 ☺ S: 「すみません」 ☒ S: 「どうぞ」 ☒ S: 「どうぞ」は please だから違う。 ☺ 学習者同士で応答の是非と理由を話す 音声を聞く S: 「はい」 自発的にリピート 音声を聞いて全員意味がわかる	
2)	T: はい、次はどう答えますか。 ♪ 2) あのう。 状況を再認識させる T: 話しかけるときに使いますか。 T: じゃあ、次を聞いてください。 ♪ 女: あのう。 男: はい。 ♪ 女: あのう。 男: はい、何ですか。 学習者からの質問について説明する	音声を聞く S: 「あの」は、that ? ☒ S: something over there. ☒ 状況を考えて答える S: that じゃない。 ☺ S: just sound ☒ S: just start 「えーと」と同じ。 ☒ 音声を聞く S: 「はい、何ですか」 自発的にリピート 音声を聞いて意味が予測できる S: 「すみません」と「あのう」どっちが丁寧?	

<p>3)</p>	<p>3) あのう、すみません。</p> <p>☞ 女：あのう、すみません 男：はい。</p> <p>☞ 女：あのう、すみません 男：はい、何でしょうか。</p> <p>学習者からの質問について説明する</p> <p>学習者からの質問について説明する</p>	<p>音声を聞いて答える</p> <p>S: 「あのう、すみません」 自発的にリピート S: 「はい/はい、何ですか」 ☺</p> <p>S: 「はい、何でしょうか」 自発的にリピート S: please tell me. S: 「何ですか」と「何でしょうか」はどう違う?</p> <p>S: 「よ」のほうが丁寧? ☹ 「何でしょう」を「何ですよ」と聞き間違えたための質問。</p>	
<p>練習 A-1 (置き換え練習)</p>	<p>「すみません/あのう/あのう、すみません」の説明をする ▶NOTES1 応答表現について説明する ▶NOTES2 学習者にリピートさせて、発音をチェックする 教師から始めてチェーンドリルを行う</p>	<p>リピートする チェーンドリルをする</p>	<p>5</p>
<p>聞いて答えよう 2</p>	<p>T: あなたは図書館に行きたいです。でも、道がわかりません。道で日本人に「図書館はどこですか」と聞きました。その日本人は音声のように答えました。次にあなたは何と言いますか。 聞いて答えよう 1 と同様に行う</p>		<p>5</p>
<p>1)</p>	<p>☞ 男：あのう、すみません、図書館はどこですか。 女：さあ.....。</p> <p>☞ 男：あのう、すみません、図書館はどこですか。 女：さあ.....。 男：そうですか、すみません。</p>	<p>S: 「さあ」は wait. ☹ S: 「さあ」は let me see? ☹ S: thinking ☹</p> <p>S: 「そうですか、すみません」 自発的にリピート S: (「さあ」は) I don't know. ☺ 音声を聞いて応答がわかるが、「さあ」の意味はまだよくわからない学習者がいる。</p>	
<p>2)</p>	<p>☞ 男：あのう、すみません、図書館はどこですか。 女：さあ、わかりません。</p> <p>☞ 男：あのう、すみません、図書館はどこですか。 女：さあ、わかりません。 男：そうですか、すみません。</p>	<p>音声を聞いて答える</p> <p>S: 「そうですか、すみません」 ここで、「さあ」の意味がわかる</p>	

	<p>☞ 男：あのう、すみません、図書館はどこですか。 女：さあ、わかりません。 男：そうですか、ありがとうございました。</p>	S：「そうですか、すみません」 自発的にリピート	
練習 A-2 (置き換え練習)	<p>「さあ」と「すみません」の説明をする ▶NOTES3, 4 練習 A-1 と同様に練習する テキストの練習以外に、場所の絵を見せてペア練習させる</p>	リピート、チェーンドリル、ペア練習などを行う	5
誤用・不適切例	<p>教師が読んで、どこが不適切で、なぜ不適切か、適切な表現は何か考えさせる T：この会話には間違いがあります。どこですか。どうしてですか。 T：どう直したらいいですか。 T：「忘れました」です。</p>	<p>S：専門の先生の名前は知っているべきなので「さあ」を使うのは良くない。☺ S：forget は日本語で何と言うか。 S：「わすれました」</p>	2
練習 B-1	<p>教師が会話例を読んで、その後学習者にリピートさせる。会話例をペア練習させる 1) 2) の 状況でペアで会話させ発表させる フィードバックする</p>	<p>リピート、ペア練習 1) ~ 2) の状況下で会話し、発表する</p>	12
聞いて答えよう 3	聞いて答えよう 1・2 と同様に行う	聞いて答えよう 1・2 と同様に行う	5
練習 A-3 (置き換え練習)	<p>確認の終助詞「ね」の説明 をする ▶NOTES5 練習 A-1 と同様に行う 囲みの「位置」を見て理解させ、練習 A-3 以外にも教師が準備したイラストなどを見ながら、様々な位置詞を使って練習させる</p>	リピート、チェーンドリル、ペア練習などを行う	10
NOTES5. Cf.	同意を求めたり、示したりする「ね」の機能について説明する ▶NOTES5 Cf.	自由にチェーンドリル	3
練習 A-4 (置き換え練習)	<p>教師が会話例を読む 情報提供の際に使う「よ」の説明をする ▶NOTES6 練習 A-1 と同様に行う</p>	<p>ペア練習、チェーンドリル S：「事務室ですよ」 ☒ S：「事務室ですよ↓」 ☒ 「よ」を強く発音したり、下降イントネーションになったりする</p>	5

聞いて答えよう4	聞いて答えよう1・2と同様に行う	聞いて答えよう1・2と同様に行う	3
練習 A-5 「置き換え練習」	聞き返しの「はい↑」の説明をする ▶NOTES7 練習 A-1 と同様に行う	ペア練習、チェーンドリル S: 「はい↑」 ⊗ S: 「はい↑」 ⊗ 「は」や「い」に強勢アクセントをつけて発音する	3
	既習の表現を尋ねる T: ほかにどんな聞き返しの表現がありますか? T: ほかにありますか? 誤用を訂正する	S: 「もう一度お願いします」 ☺ S: 「もう一度言ってください」 ☺ S: 「アレン、リーバー」 ☺ S: 「もう一度ください」 ⊗	
練習 B-2	練習 B-1 と同様に行う	練習 B-1 と同様に行う	14
ロールプレイ	2人の学習者を指名して前に出し、それぞれにロールカードを渡す。お互いに相手のカードの内容は知らない。教師は終わるまで手助けしない	※【ロールプレイの実例】を参照 ロールプレイをする S: 「あのう、はじめまして」 ⊗ (中略) S: 「よろしくお願いします」 ⊗ 会話の開始や終結に上記のように言う	10
評価	聞いている学習者に今行ったロールプレイについて尋ねる T: 今の会話はどうでしたか。 フィードバックする	S: よかった／上手だった。 S: (得た情報を) 確認していなかった。 S: 「そうですか」を言わなかった。 S: 道を聞いたときは、最後に「よろしく」と言わない。	

【ロールプレイの実例】

例1) 3-1

学習者のレベルは、未習者。尋ねる場所は、実在する「北大病院」に変更。ロールプレイの前にA 役の学習者には[3-1] A のカードと、B 役の学習者には[3-1] B のカードを読ませる。A 役の学習者には「イラストカード 3. 地図」を渡す。

(2人を教室の前に来させて、両端からお互いに向かって歩かせる。)

A：ああ、あのう、すみません。(手に地図を持っている)

B：はい。

A：ああ北大病院は、どこですか。

B：北大病院ですか。

A：はい。

B：北大病院は、ああ、こちらです。(地図を指す)

A：あ、そうですか。ありがとうございます。

B：いいえ、どういたしまして。

例2) 3-1

学習者は、自国で文字と簡単なサバイバル日本語を既習してきているレベル。「円山公園」の場所を尋ねる。例1)と同様にロールプレイ前の前にそれぞれのロールプレイカードを読ませる。A 役の学習者には「イラストカード 3. 地図」を渡す。

(2人を教室の前に来させて、両端からお互いに向かって歩かせる。)

A：ああ、あのう、すみません。(手に地図を持っている)

B：はい、何でしょうか。

A：円山公園はどこですか。

B：円山公園ですか。

A：はい。あ、地図があります。

B：ええと、今ここにいます。円山公園はここです。(地図を指す)

A：あ、そうですか。

B：ここから、ここです。左にあります。

A：左ですね。

B：はい、そうです。

A：ありがとうございました。

B：いいえ。

文法項目リスト

各課の練習 A, B と応用練習、「違う場面で」で使用されている文法項目のリストである。応用練習の使用文法項目は、練習 A, B にあるもの以外の項目で、「違う場面で」の使用文法項目は、練習 A, B と応用練習にあるもの以外の項目が記載してある。また、各課の NOTES 項目、及び当該課よりも前の課で NOTES 項目として出ているものは、本リストには掲載していない。

なお、6 課以降では、20 課の後ろにある「【参考】省略した文法項目」に記載されている文法項目の記載は省略した。

1 自己紹介をする

	使用した文法項目	例
練習 A、B	(N は)N です N の N N も	(わたしは) 中田です。 カナダの留学生 わたしも若葉大学の学生です。
応用練習	N の N の N いつ N【場所】に来ます	韓国の留学生のキムさん いつ日本に来ましたか↑ いつ日本に来ましたか↑
違う場面で	どこ N【場所】から来ます N【年/月/日/曜日/時刻】に 何 (N は)N が A です	どこから来ましたか↑ どこから来ましたか↑ (わたしは) 4 月に来ました。 趣味は何ですか↑ (わたしは) アニメが好きです。

2 聞き返す

	使用した文法項目	例
練習 A、B	何 (N は) N です N【言語】で N と N	これは何ですか↑ (これは) おやこどんぶりです。 英語でお願いします。 鶏肉と卵とご飯
応用練習	N1 は N で、N2 は N です N の N N【位置】に N があります (N は)A です	親は鶏肉で、子は卵です。 ご飯の上 ご飯の上に鶏肉と卵と野菜があります。 (それは) おもしろいですね。
違う場面で	A です	おいしいですか。

3 場所を聞く

	使用した文法項目	例
練習 A、B	どこ N【物/人】は N【場所】です N【物】は N【場所】にあります N の N どなた N は N です N【人】は N【場所】にいます N の N【位置】	どこですか↑ 図書館はどこですか↑ コンビニはどこにありますか↑ 専門の先生 専門の先生はどなたですか↑ 専門の先生はどなたですか↑ 山本先生はどこにいますか↑ 階段のそば
応用練習	N の N の N【位置】	この先のコンビニの前
違う場面で	(N は V のが)A です 何分 N【手段】で N【時間】です	(ナタリーさんは来るのが) 早いですね。 何分くらいですか↑ 電車で 30 分くらいです。

	(Nは)Aです	(アレンさんの家は)少し遠いですね。
--	---------	--------------------

4 注文する

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N(を)N【数量】 (わたしは)N(を)ください (わたしは)N(を)お願いします NとN (Nは)Nですか、Nですか N1はNで、N2はN	オレンジジュース1つですね わたしはオレンジジュースをください。 わたしは紅茶とケーキをお願いします。 紅茶とケーキ コーヒーはホットですか↑ アイスクリームですか↑ カレーライスの方は800円で、卵サンドの方は700円になります。
応用練習	何名(様) Nです N【場所】に	何名様ですか↑ 2人です こちらのお席に
違う場面で	NのN NはN【物】からおVマスカください N(が)N【数量】です Vてよろしいですか	本日のランチセット お飲み物はこちらの中からお選びください。 ランチセット2つです。 お食事といっしょにお持ちしてよろしいですか↑

5 チケット売り場で買う

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N【物】N【数量】、N【物】N【数量】 (Nは)NをVます N【手段】で (Nが)あります NかN NのN (Nは)Nです	大人1枚、学生1枚 学生証をお持ちですか↑ (理解表現) 1万円で (学生証が)あります。 現金かカード 359円のお返し 359円のお返しです。
応用練習	N【時間】から Sから、S N1はNで、N2はN	4時から きょうはレディスデーですから、女性は1,000円になります。 女性の方は、1,100円で、男性の方は、1,500円です。
違う場面で	どちら NはAです Nでしたら、S Sけど、S NはN【時間】かかります	どちらまでですか↑ 航空便は高いですか↑ 2キロでしたら、航空便は2,760円です。 船便は安いですが、2か月くらいかかりますよ 2か月くらいかかりますよ↑

6 誘う・断る

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N【年/月/日/曜日/時刻】に N【目的】にVます(移動動詞) N【人】と NをVます N【場所】で Vマスカたいです Vます N【行事/出来事】があります (Nは)NがAです	今週の土曜日に お花見に行きます。 友だちと 宿題をします。 うちでパーティーをします。 はい、行きたいです。 会いますか↑ 月曜日に試験があります。 (わたしは)手が痛いです。

	N かどうか	あさってはどうか↑
応用練習	V 普通形んです	約束があるんです。
違う場面で	V たことがあります V 普通形んですけど、～ どこの N	水族館に行ったことがありますか↑ ナタリーさんと水族館に行くんですけど、～ どこの水族館

7 あいさつする・尋ねる

	使用した文法項目	例
練習 A、B	(N は)N【場所】へ(行きます) (N は)N【場所】まで(行きます) N を V マスに(行きます) N は N が A です N が V ます N は N じゃなくて N です	どちらへ↑ どちらまで↑ 昼ご飯を食べに。 きょうは風が強いですね。 次の5番のバスが行きますよ↑ 桜台行きの電車はここじゃなくて4番線ですよ↑
応用練習	N を V ます V て、V ます	エレベーターを降りて エレベーターを降りて、右側の奥になります。
違う場面で	S けど、S N【期間】に N【頻度】 N しか V ない S ので、S V1 ないように V2 ます V てください N は N と A です N でいいですか	月曜日ですけど、毎週ではありませんよ↑ 1か月に2回 1か月に2回しかない 2回しかないので、毎週出さないように気をつけてくださいね。 毎週出さないように気をつけてくださいね。 毎週出さないように気をつけてくださいね。 ごみ袋は、燃えるごみの袋と同じでいいですか↑ 同じでいいですか↑

8 会話を続ける

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N を V ます V ています (N を)N【数量】V ます N【期間】に【何+助数詞】 N【場所】に V ます(移動動詞) N【場所】から N【場所】まで	高木さん、コーヒーをよく飲みますね↑ (お)水を)飲んでます。 だいたい5杯ぐらい飲みますよ↑ 1日に何杯ぐらい飲みますか↑ 温泉に行きます。 カナダから日本まで何時間ぐらいですか↑
応用練習	S1 けど／が、S2 N【場所】で V たことがあります N も A し、N も A です	映画館はあまり行きませんが、うちでは12本ぐらい見ます。 日本では(映画を)あまり見ません。 日本の映画を見たことがありますか↑ (宮崎駿の映画は)ストーリーもおもしろいし、絵もきれいですね。
違う場面で	N や、N や、N など N に A イ A くて、A です イ A 普通形 N	果物や、野菜や、両方ミックスしたものなど 体によさそうですね↑ 体によくて、おいしいです。 大きいボトル

9 忘れ物を問い合わせる

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N【場所】に N【物】を V ます どんな N【物】	電車にかばんを忘れました。 どんなかばんですか↑

	A て、A イ A い/ナ A な N【物】 A の N のです N【物】に N【物】があります N や N や N N に N を V ます	黒くて大きい 黒くて大きいかばんです。 もっと小さいのです。 この自転車はアレンさんのですか↑ かばんの中に財布がありますか↑ 本やノートや電子辞書です。 この紙に名前と電話番号と住所を書いてください。
応用練習	V 普通形んですが N が V ています V たら、V ます	地下鉄で財布をなくしたんですが。 お金と在留カードと学生証入っています。 見つかったら、連絡します。
違う場面で	S 普通形 N	白い猫のストラップがついた黒のペンケースですね↑

10 事情を説明する・頼む

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N を V て来ます N【人】に N【物】を V N【言語】で	お弁当を買って来てください。 先生に宿題を持っていきます。 英語で説明してください。
応用練習	V ますたいです V 普通形んですが	調べたい 何を調べたいんですか↑
違う場面で	N【手段】で V て、V ます V 辞書形と、V ます	添付ファイルで送りますか↑ 「～」というところをクリックして、ファイルを選びます。 この「開く」をクリックすると、添付できます。

11 謙遜する・褒める

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N(が)A です N【人】に(Nを)V ます 何点 V 辞書形前に V ます V てから V ます N からの N N は N が A です どんなとき N や N N【行事】に V ます	日本語(が)、上手ですね。 母に(料理を)習いました。 何点でしたか↑ 日本へ来る前に習ったんですか↑ 日本に来てから習いました。 両親からのプレゼントなんです。 その時計(は)、色がきれい/デザインがいいですね。 どんなとき着物を着ますか↑ 大学の卒業式や友だちの結婚式 大学の卒業式や友だちの結婚式に着ますよ↑
応用練習	S1 けど、S2 イ A くなります V ています V てください A んです	楽しいですけど、大変です。 だんだん難しくなります。 英語を勉強しています。 頑張ってくださいね↑ 私は10年ぐらい英語を勉強していますが、まだ下手なんです。
違う場面で	V ない N ナ A になります V て、S S 普通形からだと思えます V たことがあります	食べられないものはないですか。 日本に来てから好きになりました。 日本には野菜の料理がいろいろあって、おいしいからだと思えます。 日本には野菜の料理がいろいろあって、おいしいからだと思えます。 作ったことはないんですが、やってみます。

	V てみます	作ったことはないんですが、やってみます。
--	--------	----------------------

1 2 謝る

	使用した文法項目	例
練習 A、B	V 普通形 N S1 けど、S2 V て、S V ていました N がイ A くて、S N【行事／出来事】があります	借りた DVD、まだ見ていないんですが……。 締め切りはきのうでしたけど、どうしたんですか↑ かぜをひいて、寝ていたんです。 かぜをひいて、寝ていたんです。 実験が忙しくて、時間がありませんでした。 実験が忙しくて、時間がありませんでした。
応用練習	V てもいいでしょうか	あと 2、3 日お借りしてもいいでしょうか。
違う場面で	V てちゃった(V てしまった) S1 から、S2 N【場所】まで イ A くなる	違う方向に行く電車に乗っちゃったんだ。 それが快速電車だったから、次の駅まで 10 分くらいかっ っちゃって……。 次の駅まで 遅くなっちゃったんだ。

1 3 苦情を言う

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N が A イ A 普通形んです／V 普通形んです／N なんですが V ています N【行事／出来事】があります イ A くします	ちょっと音楽の音が大きいんですが……。 ちょっと音楽の音が大きいんですが……。／ここは私の席 なんですが……。／みんな並んでいるんですが……。 みんな並んでいるんですが……。 大学祭があるんです。 今、小さくします。
応用練習	V てもらいます V マスたいです	交換してもらいたいんですが……。 交換してもらいたいんですが……。
違う場面で	S 普通形のに N も イ A て、S V ていただけますでしょうか。	ゆっくり食事したいのに。 ナタリーさんの声も聞こえないよ。 あそこのお客さんたちの声が大きくて、ゆっくり食事でき ないんですが……。 お声を少し落としていただけますでしょうか。(理解表現)

1 4 独り言を言う・申し出る・電話をかける

	使用した文法項目	例
練習 A、B	N が V ています 何か V て行きます 何時から N はどうですか N を V ておきます N【時間】で V ます	雨が降っています。 何か買って行きましょうか。 何時からしますか↑ 午後 6 時からはどうですか↑ ジュースを買っておきますね↑ 20 分ほどお届けいたします。
応用練習	V たら、S	見つかったら、連絡してくださいね↑
違う場面で	V マスたいんですが N【数量】で お・ご V マスです V 普通形 N N【手段】でだいじょうぶです お V マスしております	予約をしたいんですが 5 名様で。 何日をご希望ですか↑ 「飲みログ」に載っていた「2 時間飲み放題コース B」 電話予約でもだいじょうぶですか↑ お待ちしております。(理解表現)

15 親しい友だちと話す

	使用した文法項目	例
練習 A、B	V マスに行きます V マスたいです V 普通形んだけど S1 けど、S2 V 意向形と思っています V なければなりません V 普通形の？ V て A です	あした、映画（を）見に行かない↑ 行きたいです。 おもしろい DVD があるんだけど、いっしょに見ない↑ おもしろい DVD があるんだけど、いっしょに見ない↑ カラオケに行こうと思っています。 アルバイトに行かなければならないんです。 何時ごろ行くの↑ みんなで踊って楽しかったです。
応用練習	N が V ておきます	ぼくが言っておくね。
違う場面で	N という N V ています V 普通形の V たら、V V 意向形か V ちゃった(V てしまった) V たり V たりします	「ひまわり畑で会いましょう」という映画 今、「ひまわり畑で会いましょう」という映画をやって(い)るんだけど、～ 4時から始まるのがあるから、～ 終わったら、いっしょにご飯食べようか。 いっしょにご飯食べようか。 すぐに映画の世界に入っちゃった。 笑ったり泣いたりしてあっという間だった。

16 許可を求める

	使用した文法項目	例
練習 A、B	V 普通形 N イ A く V N【場所】から V て、S V マスたい N N【時刻】から N【行事／出来事】があります N【場所】に N【物】を V ます V てみます V なければなりません	先週借りた本 早く帰りたい 国から両親が来るんです。 かぜをひいて熱があります。 調べたいことがあります。 2時から 2時からゼミの発表があるんです。 食堂に財布を忘れました。 これを着てみます。 空港に迎えに行かなければなりません。
応用練習	N【場所】で N【行事／出来事】があります	東京で学会があるんです。
違う場面で	S1ので、S2 S1けど、S2 S1か、S2	インターンシップ ^o の面接があるので、休ませていただけませんか↑ 来週はアレンさんの発表ですけど、だいじょうぶですか↑ 今週の課題はメールで送るか、誰か友だちに渡してください。

17 お見舞いに行く

	使用した文法項目	例
練習 A、B	イ A くなります V たとき N【原因】で V ます V てしまいます V ています	(足は) もうだいぶよくなりました。 今は痛くないですけど、転んだときはすごく痛かったです。 テニスで転んでしまったんだ。 転んでしまったんだ。 疲れているみたいだね。

	<p>V 普通形みたいです N【行事／出来事】があります V て、V ます N【場所】から V 普通形そうです／N だそうです どのぐらいで N【期間】V ます N まであと N【期間】あります S から あと N【時間】で V ます イ A くて／ナ A で、A です V 普通形と思います N1 は A けど、N2 は A</p>	<p>疲れているみたいだね。 午前中、発表と試験があったんだ。 階段から落ちて、けがをしたんです。 階段から落ちて、けがをしたんです。 あと 1 週間ぐらいかかるそうです。／あと 1 週間ぐらいだ そうです。 どのぐらいで治るんですか↑ 1 か月ぐらいかかりますよ。 締め切りまであと 2 日あるから。 締め切りまであと 2 日あるから。 あと 10 分で映画が始まりますよ 思ったより早くてよかったです。 あと 2、3 日で学校へ行けると思います。 今は痛くないですけど、転んだときはすごく痛かったです。</p>
応用練習	<p>V てくれます ナ A そうです V ながら、V ます</p>	<p>来てくれたんですか。 お元気そうで安心しました。 ゆっくり楽しみながら見ますね。</p>
違う場面で	<p>V マスそうです V てきます S 普通形んでしょう V マスたいです V て、V て、V V ておきます</p>	<p>少し何か食べられそう↑ 気分がよくなってきたから、おなかやすいてきた。 朝から何も食べて (い) ないんでしょう 何が食べたい↑ カップうどんを買って、お湯を入れて持ってくるよ。 ここに置いておこよ。</p>

18 申し込みをする

	使用した文法項目	例
練習 A、B	<p>V マスたいです N から N まで N【道具】で N をお願いします V なくてもいいです N でいいですか</p>	<p>アパートを探したいです。 1 から 4 まで ボールペンをお願いします。 ここにお願いします。 書かなくてもいいです。 これでいいですか↑</p>
応用練習	<p>お V マスでしょうか V 普通形 N お V マスします S1 ので、S2 N【手段】で V ます V 普通形と思います</p>	<p>身分証明証をお持ちでしょうか。 ATM で使うカード カードをお作りします。 カードをお作りしますので、暗証番号を決めてください。 カードは書留でお送りします。 2 週間ほどかかると思います。</p>
違う場面で	<p>V ていただきます V て、S N(を)いただけますか V てあります N【数量】まで V 辞書形ことができます V たら、S</p>	<p>こちらの用紙のここにお名前とご住所を記入していただ いて、～ ～記入していただいて、在留カードをいっしょにお持ちく ださい。 じゃ、両方いただけますか。 こちらに書いてありますが、～ CD・DVD は 2 点まで 2 週間借りることができます。 わからないことがありましたら、お尋ねください。</p>

19 頼む・頼まれる

	使用した文法項目	例
練習 A、B	V マスたいです V/A 普通形こと N が V ています N を N に V ます N に (N を) V ます V て、V ます V ば、いいですか	あのう、お願いしたいことがあるんですけど……。 あのう、お願いしたいことがあるんですけど……。 ギターが壊れているんだ。 日本語を韓国語に翻訳していただけますか／くださいませんか↑ この紙に書いて、出してください。 この紙に書いて、出してください。 いつまでに出せばいいですか。
違う場面で	V 普通形 N V て、V V なければなりません V 普通形と思います S から、V 可能形 V てあります S1 ので、S2 N【人】の V ておきます	先月行ったボランティア活動の報告会があって、 報告会があって、出席しなければならないんだ。 出席しなければならないんだ。 お昼には終わると思うから、 お昼には終わると思うから、午後は出られるよ。 先生には話してあるから、 先生には話してあるから、渡すだけでいいので、お願い。 ぼくのもらって来てくれない↑ もちろんもらっておく。

20 アドバイスを求める

	使用した文法項目	例
練習 A、B	S 普通形と思います N【行事／出来事】で V ます V て行きます N【人】に V ます V マスたいです イ A 普通形ことがあります イ A く V ます V なければなりません V 普通形 N N【道具】で どんな N N にします S1 なら、S2 N は／S 普通形のはどうですか N がいい どうやって V て、V ます V マスたいんだけど V てしまいます どうしたら どうすれば	持って行ったほうが良いと思いますよ 学会で発表する。 飲み会に遅れていく。 先生に聞きたいことがあります。 先生に聞きたいことがあります。 先生に聞きたいことがあります。 夜遅くは電話しないほうが良いと思いますよ この書類を出さなければならないんですけど、 消せるボールペンで 消せるボールペンで書かないほうが良いと思いますよ どんな物を持って行ったらいいですか↑ それなら、ケーキにします。 入院が長いなら、本や雑誌を持って行くのはどうですか↑ 果物はどうですか↑／本や雑誌を持って行くのはどうですか↑ お菓子が良いと思いますよ どうやって使ったらいいですか↑ ここにお金を入れて、ボタンを押してください。 ホームステイをしたいんだけど 携帯電話をなくしてしまったんですけど 携帯電話をなくしてしまったんですけど、どうしたらいいですか↑ 携帯電話をなくしてしまったんですけど、どうすればいいですか↑

	<p>NにVます Vてみます NとかN NやN S1からS2 (Nは)NにV受身形 V普通形んだって NかN NにN Nでいいです Vてあげます Vたらどう? Vてきます</p>	<p>アレンさんの携帯に電話してみましょう。 携帯に電話してみましょう。 お菓子とか果物を持って行きますよ 本や雑誌を持って行くのはどうですか↑ 先生はお子さんがいらっしゃるから、お菓子がいいかもしれませぬね。 友だちの結婚パーティーに招待されたんだけど 友だちだけが集まるんだって。 スーツかジャケット ジャケットにネクタイでいいと思うよ ジャケットにネクタイでいいと思うよ プレゼントにギターを弾いてあげたらどう↑ プレゼントにギターを弾いてあげたらどう↑ 楽しんできてね</p>
違う場面で	<p>Vマスタいと思っています V普通形し、V普通形し Vば、S Vておきます Vて(ください)</p>	<p>北海道を旅行したいと思っているんだけど……。 雪や氷の像が見られるし、～パウダースノーが楽しめるし。 スキー場に行けば、パウダースノーが楽しめるし。 計画を立てておいたほうがいいと思うよ また何か聞きたい事があったら、いつでも聞いて。</p>

【参考】省略した文法項目

6課以降で省略した項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ NはNです (yes-No 疑問文、「何ですか」を含む) ・ NもNです (yes-No 疑問文を含む) ・ NはAです ・ NとN、NとNとN ・ NのN、NのNのN ・ NはN【場所】にあります (yes-No 疑問文、疑問詞どこ疑問文を含む) ・ NはN【場所】にいます (yes-No 疑問文、疑問詞どこ疑問文を含む) ・ Nですか、Nですか ・ 誰、いつ、何、どこ、どちら、何時
--

9課以降で省略した項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ NをVます (他動詞、yes-No 疑問文、「何をしますか」を含む) ・ NはVます (自動詞、yes-No 疑問文、「何をしますか」を含む) ・ N【人】とVます ・ N【目的】にVます ・ N【場所】でVます ・ N【場所】に／へVます (移動動詞) ・ N【日時】にVます

10課以降で省略した項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ A普通形N

12課以降で省略した項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ NはNがAです (好きです、上手ですなど)

NOTES 項目リスト

※必要があれば、コピーして学習者に配布してください。

課 か	ページ	NOTES 番号と項目 ばんごう こうもく
1 課 か 自己紹介をする じ こしょうがい	p.11	1. はじめまして 2. アレン・リーパークウィルと申します 3. (どうぞ) よろしく (お願いします) 4. お国は↑ 5. そうですか 6. アレンさんは↑
2 課 か 聞き返す き かい	p.22	1. すみません/すいません、もう一度お願いします 2. すみません、もう一度お願いします/もう一度言ってください 3. アレン、リーバー 4. はい、そうです/ええ、そうです
3 課 か 場所を聞く ばしょ き	p.33	1. すみません/あのう/あのう、すみません 2. 何ですか↑/何でしょうか 3. さあ…… 4. すみません 5. 事務室です <u>ね</u> 6. 事務室です <u>よ</u> 7. はい↑
4 課 か 注文する ちゆうもん	p.43	1. コーヒー (を) 2つください (N (を) ~ください) 2. コーヒー (を) 2つお願いします (N (を) お願いします) 3. 何/何になさいますか↑ 4. お願いします
5 課 か チケット売り場で買 う う ば か	p.54	1. 学生1枚、お願いします (N~、お願いします) 2. はい。これで 3. 1万円でお願ひします
6 課 か 誘う・断る さそ ことわ	p.65	1. アレンさんも行きませんか↑ (Vませんか↑) 2. 今週の土曜日にお花見に行きますが、~ (Vますが、~) 3. いいですね 4. アレンさんも <u>どうですか</u> ↑ 5. あしたはちょっと…… (Nはちょっと……) 6. すみません 7. また今度
7 課 か あいさつする・尋ね る たず	p.77	1. どちらへ↑ 2. 行ってらっしゃい/ってきます 3. ただいま/おかえりなさい 4. 久しぶり/お久しぶりです

		5. どうも
8課 か 会話を続ける かいわ つづ	p. 90	1. コーヒーをよく飲みます <u>ね</u> 2. 1日に <u>どのぐらい</u> 飲みますか↑ 3. あまり飲みません (あまりVません) 4. そうですねえ 5. 日本語の勉強はどうですか↑ (Nはどうですか↑) 6. <u>難しい</u> ですけど、おもしろいです 7. <u>じゃ/では</u> 、お先に失礼します 8. お疲れさまでした 9. <u>ところで</u> 、アレンさん、日本語の勉強はどうですか↑
9課 か 忘れ物を問い合わせる わすれもの と あ	p. 102	1. はい、そうです 2. いいえ、 <u>違います</u> 3. <u>じゃ</u> 、この紙に名前と電話番号と住所を書いてください 4. <u>じゃ</u> 、この紙に名前と電話番号と住所を書いてください (Vてください い)
10課 か 事情を説明する・頼む じじょう せつめい たの	p. 112	1. 今、(お)時間(が)ありますか↑ 2. 今、ちょっといいですか↑/いいでしょうか/よろしいですか↑/ よろしいでしょうか 3. この漢字がわからない <u>んですが</u> …… 4. 教えてください/教えてくださいませんか↑ (Vてください/Vてくだ さいませんか↑) 5. はい、いいですよ 6. お願いします
11課 か 謙遜する・褒める けんそん ほ	p. 122	1. いえいえ……/とんでもない 2. すごい! 3. (日本へ来る前に)習った <u>んです</u> か↑/両親からのプレゼント <u>なんて</u> す
12課 か 謝る あやま	p. 132	1. レポート(を) <u>まだ書いていないんですが</u> …… (Vていない/Vていま せん) 2. レポート(を) <u>まだ書いていないんですが</u> …… 3. <u>まだ</u> なんですか↑ 4. レポートは、 <u>かならず</u> 今週中に出します 5. もうだいぶよくなりました (だいぶAdj. く/になりました)
13課 か 苦情を言う くじょう い	p. 143	1. <u>ちょっと</u> 音楽の音が大きい <u>んですが</u> …… 2. <u>ちょっと</u> 音楽の音が大きい <u>んですが</u> /けど…… 3. あしたっしするんです。それで、今、準備しているんです
14課 か 独り言を言う・申し出 ひとごと い もう	p. 154	1. ああ、(試験が)終わった 2. 持って行きましょうか (V _{マテ} form しましょうか)

<p>る・電話をかける でんわ</p>		<p>3. ありがとうございます 4. <u>じゃあ</u>、飲み物をお願いします の　もの　ねが</p>
<p>15課 か 親しい友だちと話す した　とも　はな</p>	<p>p. 165</p>	<p>1. あした、映画（を）見に行かない↑ えいが　み　い 2. あした、映画を見に行かない↑（～Vない↑） えいが　み　い 3. <u>んー</u>、残念だけど…… ざんねん 4. <u>んー</u>、残念だけど／残念ですが…… ざんねん　ざんねん 5. 映画（を）見に行こうと思って（い）るんだけど えいが　み　い　おも 6. 女性的な表現 じょせいてき　ひょうげん</p>
<p>16課 か 許可を求める きょか　もと</p>	<p>p. 174</p>	<p>1. あしたのクラスのことなんですが／だけど（Nのことなんですが／ だけど） 2. 早く帰りたいんですが／けど、よろしいでしょうか／いいでしょうか はや　かえ ／いいですか 3. 午後の授業を休んでもよろしい／いいでしょうか（Vてもよろしい／ ご　ご　じゅぎょう　やす いいでしょうか） 4. あしたのクラスを休ませていただけませんか↑（Vさせていただけま やす せんか↑）</p>
<p>17課 か お見舞いに行く み　ま　い</p>	<p>p. 186</p>	<p>1. 大変ですね／大変でしたね たいへん　たいへん 2. あと～（時間／日など） じかん　ひ 3. お大事に だいじ</p>
<p>18課 か 申し込みをする もう　こ</p>	<p>p. 195</p>	<p>1. <u>申し込み</u>に来たんですが／探したいんですが…… もう　こ　き　さが 2. ここをお願いします（Nに／から～まで／お願いします） ねが</p>
<p>19課 か 頼む・頼まれる たの　たの</p>	<p>p. 205</p>	<p>1. お願いしたいことがあるんですが／けど…… ねが 2. チェックしていただけませんか／くださいませんか（Vていただけま せんか／くださいませんか） 3. <u>いつまでに</u>／まで</p>
<p>20課 か アドバイスを求める もと</p>	<p>p. 217</p>	<p>1. 何か持って行ったほうがいいですか↑（Vたほうがいいですか↑） なに　も　い 2. どんなものを持って行ったらいいですか／行けばいいですか↑（疑問詞 も　い　い　きもんし ～Vたらいいですか／Vばいいですか↑） 3. <u>それなら</u>、ケーキにします 4. お菓子がいいかもしれませんね かし</p>